



映像伝送器 VIII 型

取扱説明書

HYTEC INTER Co., Ltd.

第 1 版

ご注意

- 本書の中に含まれる情報は、当社（ハイテクインター株式会社）の所有するものであり、当社の同意なしに、全体または一部を複製または転載することは禁止されています。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一、ご不審な点や誤り、記載漏れなどのお気づきの点がありましたらご連絡ください。

改版履歴

第 1 版 2021 年 12 月 27 日 新規作成 バージョン 4.2.1.0 対応

ご注意

- 本製品及び付属品をご使用の際は、取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本製品及び付属品を分解したり改造したりすることは絶対に行わないでください。
- 本製品及び付属品の故障、誤動作、不具合、あるいは天災、停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品及び付属品は、改良のため予告なしに仕様が変更される可能性があります。あらかじめご了承ください。
- 本製品を掃除する時は、柔らかい乾いた布で汚れをふき取ってください。汚れがひどい場合は、中性洗剤をご使用ください。
- 太陽光などの非常に明るい被写体にカメラを向けるのは避けてください。イメージセンサが損傷する可能性があります。
- 本製品を使用する場合、Microsoft、Apple、Googleの関連コンテンツが含まれます。本ユーザーマニュアルの写真とスクリーンショットは、当社製品の使用方法を説明するためだけに使用していません。Microsoft、Apple、Googleに関連する商標、ロゴおよびその他知的財産の所有権は、上記の企業に帰属するものとします。

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために

ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになった後はいつでも見られる所に保管してください。

尚、本書は、ファームウェアバージョン 4.2.1.0(26606)で作成しています。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

お買い上げになった機器に当てはまらない注意事項もありますが、ご了承ください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

使用上の注意



警告



- **本機に乗らない！**
倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。



- **本機の上に重いものを置かない！**
バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因になることがあります。



- **移動させる場合は、必ず電源スイッチを切り、プラグを抜き、機器間の接続ケーブルはずす！**
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



- **長期間使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く！**
火災の原因となることがあります。



- **専用 AC アダプタ以外は使用しない！**
定格外の AC アダプタを使用すると、火災・感電の原因になることがあります。



- **電源コードを傷つけない！ 加工しない！ 無理に曲げない！ ねじらない！ 引っ張らない！ 加熱しない！**
コードが破損して火災・感電の原因となります。



- **雷が鳴り出したら、同軸コネクタ/ケーブルや電源プラグに触れない！**
感電の原因になります。



- **指定された消費電力 (W) を越える装置は接続しない！**
火災の原因となります。本機の AC アウトレットが供給できる電力 (W) は AC アウトレット付近または取扱説明書に表示してあります。



- **レンズで太陽・照明などをのぞかない！**
強い光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。

● **本機のケース・裏パネル等はずさない!**

内部には高圧の部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店または営業マンにご依頼ください。

● **本機の上に水などの入った容器を置かない!**

こぼれて中に入ると、火災・感電の原因になります。

● **風呂、シャワー室などの水場では使用しない!**

火災・感電の原因となります。

● **本機の上に小さな金属物を置かない!**

中に入ると、火災・感電の原因となります。

● **表示された電源電圧以外は使用しない!**

火災・感電の原因となります。

● **本機に水を入れたり、濡らしたりしない!**

火災・感電の原因になります。

雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。

● **本機の開口部から金属物や燃えやすいものなどの異物を差し込まない! 落とし込まない!**

火災・感電の原因となります。

● **本機を改造しない!**

火災・感電の原因となります。

設置について



警告

● **不安定な場所に置かない!**

落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

● **電源コードの上に重いものを置かない! 本機の下敷きにしない!**

コードが傷ついて、火災・感電の原因になります。コードの上を敷物などで覆うと、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。



- **水場に設置しない！**
火災・感電の原因となります。



- **指定された機器以外とは接続しない！**
火災・感電の原因となります。



- **本機の固定は工事専門業者に依頼を！**
本機を固定する場合は、指定された方法できちんと固定しないと、落ちたり、倒れたりして、火災・感電・けがの原因になります。特に、壁や天井に固定する場合は、必ず工事専門業者にご依頼ください。なお、取付け費用については、販売店または営業マンにご相談ください。



- **湿気やほこりの多い場所に置かない！**
火災・感電の原因となることがあります。



- **調理台や加湿器のそばなど油煙や湿気が当たる場所に置かない！**
火災・感電の原因となることがあります。



- **本機の通風孔をふさがない！**
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。
 - ・本機を仰向けや横倒し、逆さまにする。風通しの悪い狭い所に押し込む。
 - ・じゅうたんや布団の上に置く。テーブルやクロスなどを掛ける。



- **電源コードを熱器具に近づけない！**
コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



- **電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない！**
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



- **濡れた手で電源プラグを抜き差ししない！**
感電の原因となることがあります。

異常時の処理について



警告



- 煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態の場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙が出なくなるのを確認して、販売店または営業マンに修理をご依頼ください。
お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



- 本機の内部に水などが入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
販売店または営業マンにご連絡ください。



- 本機の内部に異物が入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
販売店または営業マンにご連絡ください。



- 本機が故障した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
販売店または営業マンに修理をご依頼ください。



- 本機を落としたり、ケースが破損した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
販売店または営業マンにご連絡ください。



- 電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）場合は、交換を依頼する！

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
販売店または営業マンに交換をご依頼ください。

お手入れについて



注意



- **お手入れの際は安全のため、スイッチを切り電源プラグを抜く！**
感電の原因となることがあります。



- **一年に一度くらいは、販売店または営業マンに内部の掃除の相談を！**
本機の内部にほこりがたまったまま使用し続けると、火災・故障の原因になることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
なお、掃除費用については販売店または営業マンにご相談ください。

**注意**

本パッケージに含まれる内容に損傷、不足、不適當なものがあつた場合、お住まいの地域の販売店までご連絡ください。本製品の不正改造を行うと保証の対象外となります。

その他

**通知**

- 本書に記載された情報は予告なしに変更される場合があります。
- 本書に含まれる情報は、あくまで参考用とみなされます。

**通知**

- インターネットを経由する機能については、お客様のインターネット環境に合わせた設定が必要です。
- お客様のインターネット環境の変更が必要となる場合もあります。

目次

1. はじめに	13
1.1 製品概要	13
1.2 特徴	13
1.3 監視アプリケーション	14
1.4 梱包物一覧	15
1.5 製品外観例	15
1.6 カメラの設置	17
2. ネットワーク接続	18
2.1 LAN	18
2.1.1 IP-Tool によるアクセス	18
2.1.2 IE へ直接アクセス	21
2.2 WAN	22
2.2.1 ルータまたは仮想サーバを介したアクセス	22
2.2.2 静的 IP によるアクセス	23
2.3 Wi-Fi	24
2.3.1 WPS を使用した設定	24
2.3.2 手動で設定	25
3. ライブ画面	27
4. 設定ホーム	29
4.1 システム設定	30
4.1.1 基本情報	31
4.1.2 日付と時間	32
4.1.3 ローカル設定	34
4.1.4 ストレージ	35
4.2 画像設定	42
4.2.1 画質調整	43
4.2.2 映像/音声	47
4.2.3 OSD	49
4.2.4 プライバシーマスク	50
4.2.5 ROI	51

4.3	アラーム設定	52
4.3.1	モーション検出	53
4.3.2	PIR（人感センサー）アラーム	59
4.3.3	異常	60
4.3.4	アラーム入力	64
4.3.5	アラーム接点出力	65
4.3.6	アラームサーバ	68
4.4	イベント設定	69
4.4.1	妨害検知	70
4.4.2	ラインクロス（ライン超え検知）	72
4.4.3	エリア侵入検知	75
4.5	ネットワーク	78
4.5.1	TCP/IP	79
4.5.2	ポート	82
4.5.3	サーバ	83
4.5.4	DDNS	84
4.5.5	SNMP	87
4.5.6	802.1X	90
4.5.7	RTSP	91
4.5.8	UPnP	92
4.5.9	Email	93
4.5.10	FTP	96
4.5.11	HTTPS	98
4.5.12	QoS	101
4.5.13	Wi-Fi	102
4.6	セキュリティ設定	106
4.6.1	ユーザー	106
4.6.2	オンラインユーザ	110
4.6.3	ブロックと許可リスト	111
4.6.4	セキュリティ管理	112
4.7	メンテナンス	113
4.7.1	バックアップと復元	114
4.7.2	再起動	116
4.7.3	アップグレード	117
4.7.4	操作ログ	118

5. 検索	119
5.1 録画検索	120
5.1.1 ローカル録画（動画）	120
5.1.2 SDカード録画（動画）	121
5.2 画像検索	123
5.2.1 ローカル画像（静止画）	123
5.2.2 SDカード画像（静止画）	124
6. 製品仕様	125
7. 困ったときには	127
8. 製品保証	130

1. はじめに

1.1 製品概要

本モデルは、1/2.7"2 メガピクセル CMOS センサーを搭載し、フルハイビジョン解像度：1920X1080で撮影することができる、高解像度・高ダイナミックレンジを実現したネットワークカメラです。

2.4GHz 帯の無線 LAN 接続に対応しており、Wi-Fi 環境が整備された場所では、PC やレコーダと無線接続が可能のため、容易に設置することができます。

PIR(人感センサ)や、IVA(画像解析機能)による検知機能を搭載し、オートホワイトバランス機能、逆光補正、自動電子シャッター機能、赤外線照明等、監視カメラに要求される機能を装備したネットワークカメラです。

1.2 特徴

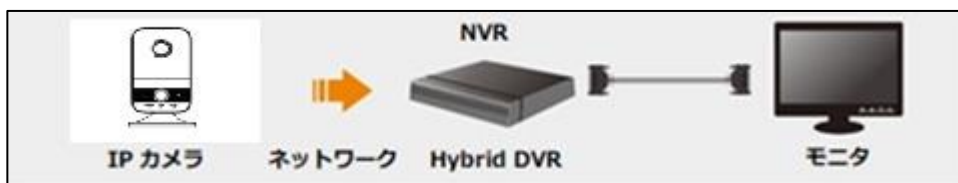
- 1/2.7"2 メガピクセル CMOS センサーを搭載し、高画質、高感度を実現
- PoE 給電対応。PoE 対応 HUB や PoE ポート付きの NVR からイーサネットケーブルを経由して電源供給が可能
- 赤外線 LED を装備し、夜間の照明のない環境でも撮影可能
- H.264/H.265/MJPEG 対応
- PIR(人感センサ)を搭載し、人間を検知して録画や通知が可能
- IVA(画像解析)による、ライン越え検知、エリア侵入検知機能を装備
- WDR(ワイドダイナック)機能、BLC(バックライトキャンセル)機能により、逆光等の明暗差が大きな被写体でも、最適な画像に調整
- MicroSD カードへ録画可能(動画及び静止画)、録画スケジュール設定可能
- アラーム入出力端子を装備し、周辺機器との連携可能
- マイクとスピーカを装備し、PC やスマートフォンから双方向通話が可能
- モーション検知、妨害検知、プライバシーマスク機能、メール送信機能、DDNS 等、豊富な機能を搭載

1.3 監視アプリケーション

カメラとコンピュータを LAN で接続



カメラと NVR などの録画装置を接続



カメラと CMS など監視ソフトウェアと接続



1.4 梱包物一覧

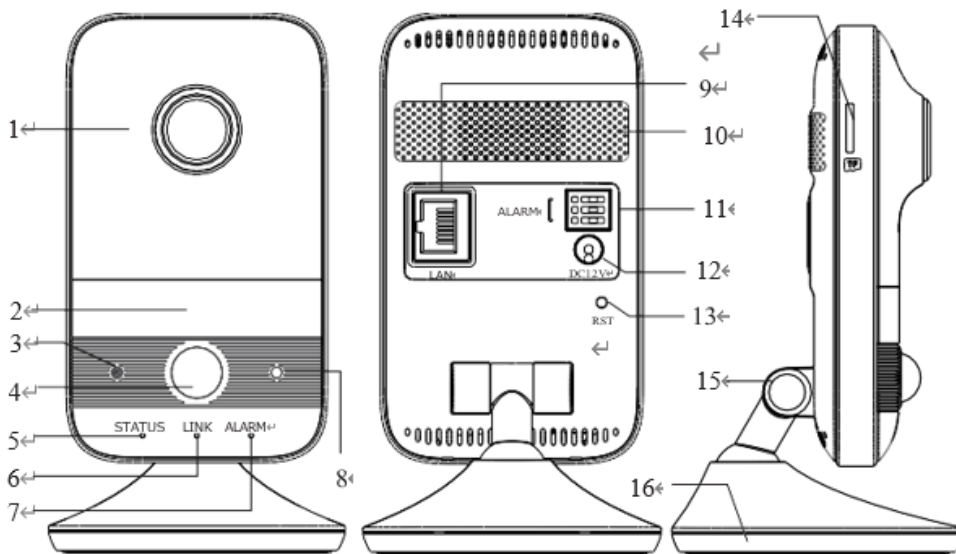
ご使用いただく前に本体と付属品を確認してください。万一、不足の品がありましたら、お手数ですがお買い上げの販売店までご連絡ください。

●映像伝送器 VIII 型

名 称	数 量
本体	1 台
ネジ、アンカー（各 2 本）	1 式
ドリルテンプレート	1 枚
クイックスタートガイド	1 枚

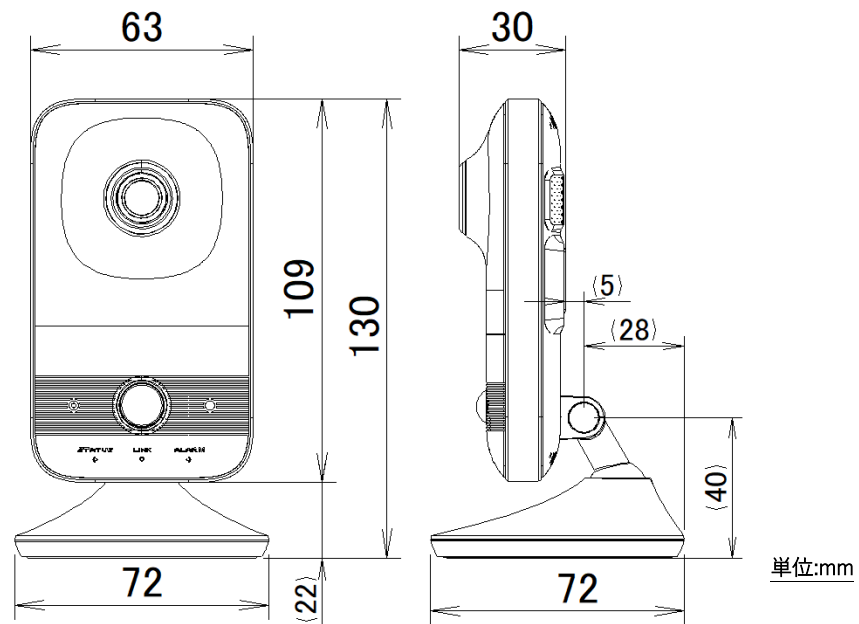
1.5 製品外観例

● Wi-Fi キューブカメラ 映像伝送器 VIII 型（HIC-SQ201W）



#	表 示	説 明
1	レンズ	1/2.7"2 メガピクセル CMOS センサー
2	赤外線 LED	赤外線 LED 1 個
3	MIC	オーディオ入力（LINE）
4	PIR	パッシブ赤外線センサー
5	STATUS	電源インジケータ：緑色

6	LINK	ネットワークインジケータ：青色
7	ALARM	アラームインジケータ：赤色
8	光センサ	カメラ周囲の明るさで赤外 LED が点灯
9	LAN	LAN ケーブル接続(10Mbps/100Mbps) ※PoE 対応
10	スピーカ	
11	ALARM	アラームの入力/出力 1 : ALARM IN、2 : ALARM GND 3 : ALARM OUT
12	POWER	DC12V 入力
13	RST	リセットボタン
14	SD カードスロット	メモ리카ード (Micro SD/SDHC/SDXC) をスロットに挿入 SD カードに録画、スナップショットの保存を行います。
15	ブラケット	3 軸ブラケット
16	取付台	



1.6 カメラの設置

本製品の設置方法について説明します。以下の注意点をご確認の上、設置してください。

注 1 壁または天井がカメラの 3 倍の重量に耐えられる強度であることを確認してください。

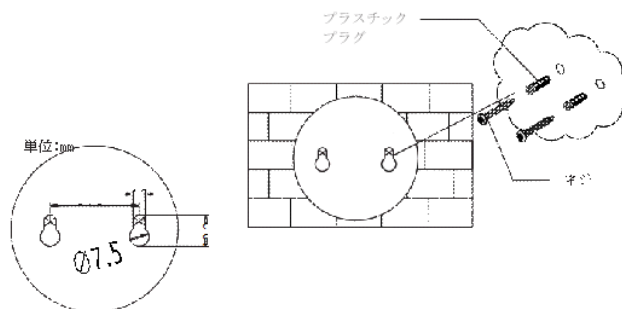
注 2 カメラは乾燥した場所に設置してください。

注 3 取り付けが完了するまで保護フィルムを剥がさないでください。

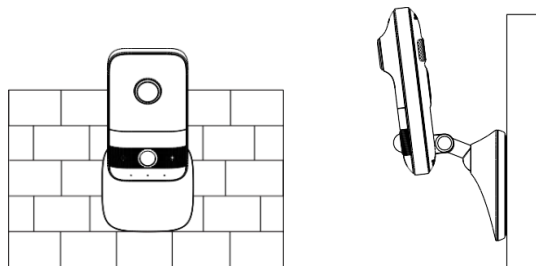
● Wi-Fi キューブカメラ 映像伝送器 VIII 型 (HIC-SQ201W)

壁面取り付けの手順は以下の通りです。

- (1) カメラを固定する場所にドリルテンプレートを取り付けます。次に、ドリルテンプレートに従って壁にネジ穴を開けます。
- (2) ドリルテンプレートを剥がし、プラスチックのプラグとネジをネジ穴に差し込みます。壁とネジの間には少し隙間を空けてください。



- (3) ケーブルを配線して接続します。
- (4) 取り付け台をネジに引っ掛け、カメラがしっかりと固定されていることを確認します。次に、ブラケットの角度を調整します。



- (5) レンズと赤外線 LED カバーの保護フィルムをはがします。

2. ネットワーク接続

LAN または Wi-Fi を経由で IP カメラを接続します。詳細は次のとおりです。

2.1 LAN

LAN では、IP カメラへのアクセス方法は 2 つあります。

2.1.1 IP-Tool によるアクセス

ネットワーク接続：




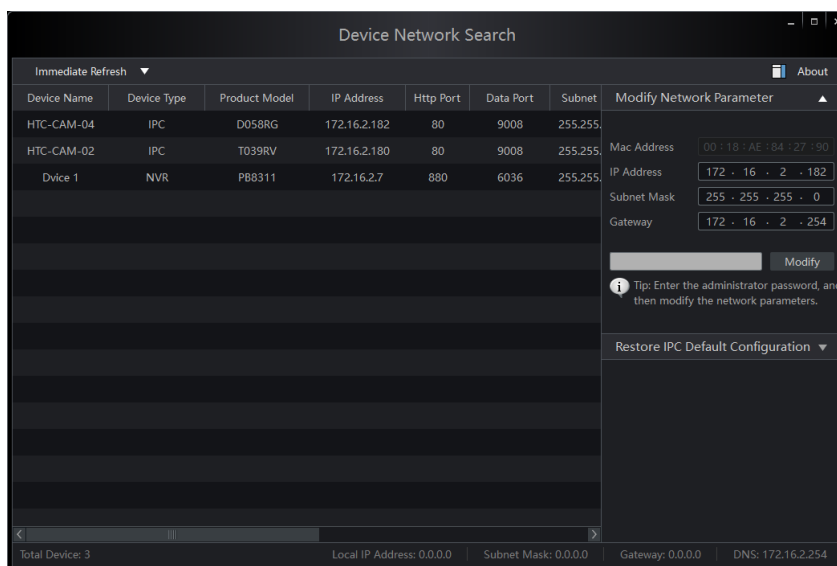
手順は次の通りです。

- ① IP-Tool を PC(コンピュータ)にインストールしておきます。

IP-Tool のダウンロードは以下 URL からお願いします。(他のカメラのリンク先の IP-Tool でも使用できます。)

<https://hytec.co.jp/products/video/hic-sq201w.html>

- ② PC と IP カメラが LAN で接続されていることを確認します。
- ③ デスクトップ上にある IP-Tool アイコン  をダブルクリックすると、以下のように動作します。



- ④ IP アドレスを変更します。このカメラのデフォルト IP アドレスは 192.168.226.201 です。リストのカメラをクリックすると、右手にネットワーク情報が表示します。ネットワークアドレスがコンピュータのローカルネットワークセグメントと同じであることを確認します。同じでない場合は、カメラの IP アドレスとゲートウェイを変更する必要があります。

例：コンピュータの IP アドレスが 172.16.2.4 である場合、カメラの IP アドレスを 172.16.2.X に設定します。変更後、管理者のパスワードを入力し、[Modify] ボタンをクリックして変更します。

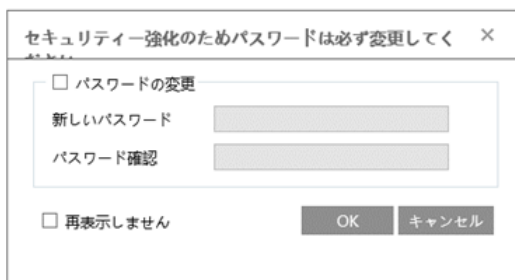
管理者のデフォルトパスワードは“**123456**”です。（カメラの管理者パスワードです。）

- ⑤ リスト内のカメラをダブルクリックすると、IE ブラウザがポップアップして IP カメラに接続します。指示に従い、該当するプラグインをインストールして実行します。※プラグインを自動的にダウンロード後、インストールする直前で IE ブラウザを閉じてからインストールします。閉じないでインストールするとプラグインのインストールに失敗する場合があります。失敗したときは再度インストールを試みてください。

名前とパスワードを入力して、ストリームタイプと言語は日本語を選択し、ログインします。

デフォルトの名前は“**admin**”、デフォルトパスワードは“**123456**”です。
カメラのバージョンが 4.2.1.0 の場合、Edge の IE モードでもアクセスができます。

- ⑥ デフォルトのパスワード変更を要求されます。セキュリティのために、デフォルトパスワードの変更をお勧めします。パスワードを変更する場合は、[パスワードの変更]にチェックを入れ、新しいパスワードを入力します。変更しない場合は、そのまま[OK]をクリックします。[再表示しません]にチェックを入れると、次回からこのメッセージは表示されません。



セキュリティ強化のためパスワードは必ず変更してください ×

パスワードの変更

新しいパスワード

パスワード確認

再表示しません

OK キャンセル

ログインが成功しプラグインのインストールに成功しているとカメラのライブ画像を表示することができます。※画像表示するときプラグインのインストールは必須です。

カメラのバージョンが 4.2.1.0 の場合、Edge の IE モードでもアクセスができます。

2.1.2 IE へ直接アクセス

デフォルトネットワーク設定を表示します。カメラに初めてログインするときは、下記のデフォルト設定を使用してください。

IP アドレス : 192.168.226.201	サブネットマスク : 255.255.255.0
ゲートウェイ : 192.168.226.1	HTTP ポート : 80
データポート : 9008	

LAN ケーブルを使用して、カメラとコンピュータを直接接続します。



- ① PC の IP アドレスを手動で設定し、IP カメラのデフォルト設定と同じネットワークセグメントにする必要があります。コントロールパネルを開き、ネットワークと共有センター ⇒ アダプタの設定の変更 ⇒ イーサネットを開きます。（例：Windows10）
- ② イーサネットのプロパティから[インターネット プロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)]を開きます。 PC の IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS サーバを入力し、[OK]をクリックします。
- ③ IE ブラウザを開き、IP カメラのデフォルト IP アドレスを入力します。
- ④ 指示に従い、該当するプラグインをインストールして実行します。※プラグインを自動的にダウンロード後、インストールする直前で IE ブラウザを閉じてからインストールします。閉じないでインストールするとプラグインのインストールに失敗する場合があります。失敗したときは再度インストールを試みてください。
- ⑤ ログイン画面で名前とパスワードを入力します。言語は日本語を選択し、ログインします。

デフォルトの名前は **“admin”**、デフォルトパスワードは **“123456”** です。

カメラのバージョンが 4.2.1.0 の場合、Edge の IE モードでもアクセスができます。

2.2 WAN

WAN では、IP カメラへのアクセス方法は 2 つあります。

2.2.1 ルータまたは仮想サーバを介したアクセス

ネットワーク接続：



- ① カメラがローカルネットワークで接続されていることを確認し、LAN 経由でカメラにログインします。
- ② 設定>ネットワーク>ポートメニュー(4.5.2 **ポート**)に移動して、ポート番号を設定します。

HTTPポート	<input type="text" value="80"/>
HTTPSポート	<input type="text" value="443"/>
データポート	<input type="text" value="9008"/>
RTSPポート	<input type="text" value="554"/>

- ③ 設定>ネットワーク>TCP/IP メニュー(4.5.1 **TCP/IP**)に移動して、IP アドレスを設定します。
[以下の IP アドレスを使う]を選択し、IP アドレスなどのパラメータを入力します。

IPv4 IPv6 PPPoE設定 IP変更通知設定	
<input type="radio"/> 自動的にIPアドレスを取得する	
<input checked="" type="radio"/> 以下のIPアドレスを使う	
IPアドレス	<input type="text" value="192.168.226.201"/> <input type="button" value="テスト"/>
サブネットマスク	<input type="text" value="255.255.255.0"/>
ゲートウェイ	<input type="text" value="192.168.226.1"/>
優先DNSサーバ	<input type="text" value="192.168.226.1"/>
代替DNSサーバ	<input type="text" value="8.8.8.8"/>

WAN 経由で通信する場合は、ルータでポートフォワーディングの設定をする必要があります。

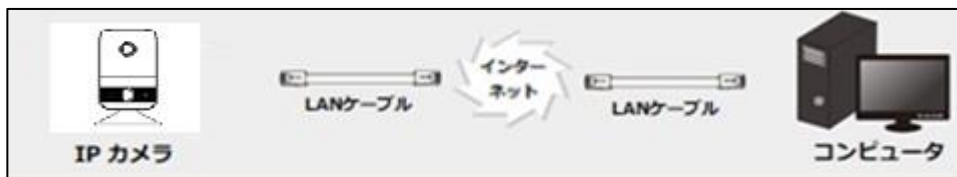
HTTP ポートとデータポートをフォワーディングしてください。Onvif 接続の時は、HTTP ポートと RTSP ポートをフォワーディングします。

- ④ IE ブラウザを開き、アクセスする WAN IP と HTTP ポートを入力します。

例 : <http://192.168.226.180:880>

2.2.2 静的 IP によるアクセス

ネットワーク接続 :



- ① 設定>ネットワーク>ポートメニュー(**エラー! 参照元が見つかりません。** エラー! 参照元が見つかりません。)に移動して、ポート番号を設定します。

HTTPポート	<input type="text" value="80"/>
HTTPSポート	<input type="text" value="443"/>
データポート	<input type="text" value="9008"/>
RTSPポート	<input type="text" value="554"/>
<input type="button" value="保存"/>	

- ② 設定>ネットワーク>TCP/IP メニュー(4.5.1 **TCP/IP**)に移動して、IP アドレスを設定します。
[以下の IP アドレスを使用してください]を選択し、IP アドレスなどのパラメータを入力します。

IPv4 IPv6 PPPoE設定 IP変更通知設定	
<input type="radio"/> 自動的にIPアドレスを取得する	
<input checked="" type="radio"/> 以下のIPアドレスを使う	
IPアドレス	<input type="text" value="192.168.226.201"/> <input type="button" value="テスト"/>
サブネットマスク	<input type="text" value="255.255.255.0"/>
ゲートウェイ	<input type="text" value="192.168.226.1"/>
優先DNSサーバ	<input type="text" value="192.168.226.1"/>
代替DNSサーバ	<input type="text" value="8.8.8.8"/>
<input type="button" value="保存"/>	

- ③ IE ブラウザを開き、アクセスする WAN IP と HTTP ポートを入力します。

例 : http://192.168.226.180:880

2.3 Wi-Fi

Wi-Fi 接続可能な機種では、IP カメラの設定方法は 2 つあります。

2.3.1 WPS を使用した設定

ルータが WPS をサポートしている場合は、以下の操作で簡単に設定できます。

- ① ルータの WPS ボタンを押します。
- ② 120 秒以内にカメラの RST ボタンを押します。

カメラの RST ボタンを押してからルータの WPS ボタンを押しても、同様に機能します。Wi-Fi が接続されていると、赤いアラームインジケータが点滅します。

PIN コードを使用した接続も可能です。詳細は「4.5.13 Wi-Fi」を参照してください。

2.3.2 手動で設定

以下の手順に従って Wi-Fi を手動で接続することもできます。本設定より前にカメラに接続するために LAN での設定が必要です。

- ① ネットワークケーブルでカメラを LAN に接続します。
- ② IPTool を実行し、カメラの IP アドレスを見つけます。このカメラのデフォルトの IP アドレスは 192.168.226.201 です。それをダブルクリックします。これにより、カメラのログイン画面に移動します。ログインするための管理者のユーザー名とパスワードを入力します。
- ③ [設定]→[ネットワーク]→[WIFI]とクリックして次の画面へ移動します。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート サーバ DDNS SNMP 802.1X RTSP UPnP Email FTP HTTPS QoS **WiFi**

有効 **検索**

Index	SSID	ワーキングモード	セキュリティモード	チャンネル	信号強度	Mbps	接続状態
1							接続完了
2							未接続
3							未接続
4							未接続
5							未接続

Wi-Fi

SSID: TP-Link_173A

セキュリティモード: WPA2-personal

キー 1: *

暗号化タイプ: AES

WPS

WPSを有効にする

PINコード: [] 性別: []

PBC接続 **接続**

ルーターのPINコードを使用する **接続**

SSID: TP-Link_173A

ルーターPINコード: [] ルーターのPINコードを入力してください。

LAN

自動的にIPアドレスを取得する

以下のIPアドレスを使う

IPアドレス: 172.16.100.202

サブネットマスク: 255.255.255.0


ゲートウェイ: 172.16.100.254

優先DNSサーバ: 172.16.100.254

代替DNSサーバ: 8.8.8.8

保存

- ④ 上図で Wi-Fi を有効にして[検索]をクリックしてワイヤレスルータを検索します。
- ⑤ 目的のルータ行をクリックすると、Wi-Fi セクションの SSID 表示が該当ルータに変化するので、セキュリティモードを選択し、ルータの暗号キーを入力して、暗号化タイプを選択します。

Wi-Fi	
SSID	TP-Link_173A
セキュリティモード	WPA2-personal
キー 1 	*****
暗号化タイプ	AES

- ⑥ その後、[自動的に IP アドレスを取得する]を選択するか、[以下の IP アドレスを使う]をクリックして手動で IP アドレスを入力します。

LAN	
<input type="radio"/> 自動的に IP アドレスを取得する	
<input checked="" type="radio"/> 以下の IP アドレスを使う	
IP アドレス	172.16.100.202
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	172.16.100.254
優先 DNS サーバ	172.16.100.254
代替 DNS サーバ	8.8.8.8

- ⑦ [保存]ボタンをクリックして設定を保存します。
- ⑧ ネットワークケーブルをカメラから抜きます。
- ⑨ IPTool を実行し、IP アドレスまたは MAC アドレスでカメラを見つけます。次に、IPTool に表示されているものをダブルクリックするか、Web ブラウザのアドレスバーにカメラの IP アドレスを入力してカメラにアクセスします。

3. ライブ画面

右上の[ライブ]タブを開きます。



ライブ画面(左上)の説明

再生するライブ画面の画質を、第 1 ストリーム / 第 2 ストリーム / 第 3 ストリーム からを選択します。

各ストリームの設定は、「4.2.2 映像/音声」で行います。

ライブ画面(左下)のアイコン説明

アイコン	説明	アイコン	説明
	等倍表示 (1 : 1)		オリジナルアスペクト比
	ウィンドウに合わせる		フルスクリーン※1

※1 フルスクリーンモードの終了方法は、マウスでダブルクリックするか、キーボードの Esc キーを押します。

ライブ画面(右上)のアイコン説明 ※2

アイコン	説明	アイコン	説明
	モーション検出のアラーム表示		PIR センサーのアラーム表示
	アラーム入力のアラーム表示		急激なシーン変化のアラーム表示
	不鮮明画像（ピンボケ）のアラーム表示		映像妨害(隠す、塞ぐ)のアラーム表示
	ラインクロスのアラーム表示		エリア侵入検知のアラーム表示
	SD カードの有無を表示※3		

※2 各検出アラームが有効になっている場合のみアイコンを表示し、無効時は表示されません。検出された場合、アイコンが赤く点滅します。

※3 SD カードは挿入されるとアイコンが表示され、録画・画像保存時に赤く点灯します。

ライブ画面(右下)のアイコン説明

アイコン	説明	アイコン	説明
	ライブビューのオン/オフ		双方向音声のオン/オフ
	スピーカのオン/オフ		スナップショット※4
	手動録画のオン/オフ※5		ズームイン/ズームアウト


※4 スナップショットは、「4.1.3 ローカル設定」の「静止画保存のパス」のフォルダに保存されます。

《 静止画保存のパス > picture > IP アドレス 》

 << Program Files > NetAllIPCamera > picture > 172.16.2.180

※5 録画は、「4.1.3 ローカル設定」の「録画保存のパス」のフォルダに保存されます。

《 録画保存のパス > video > IP アドレス 》

 << Program Files > NetAllIPCamera > video > 172.16.2.180

4. 設定ホーム

右上の[設定]タブを開きます。



4.1 システム設定

基本情報、日付と時間、ローカル設定、ストレージなどのサブメニューがあります。

 システム設定 基本情報 日付と時間 ローカル設定 ストレージ	設定ホーム ▶ システム設定
 画像設定 画質調整 映像/音声 OSD プライバシーマスク ROI	<div style="background-color: #cccccc; padding: 5px;">システム設定</div> <ul style="list-style-type: none"> <li style="background-color: #cccccc; padding: 5px;">● 基本情報 デバイス名称や製品型名、ソフトウェアバージョン等、基本的な情報を表示します <li style="background-color: #cccccc; padding: 5px;">● 日付と時間 本機の日付と時間を設定します <li style="background-color: #cccccc; padding: 5px;">● ローカル設定 このPCでのファイルの保存先等を設定します <li style="background-color: #cccccc; padding: 5px;">● ストレージ SDカードのフォーマットや、SDカード記録に関する項目を設定します。
 アラーム設定 モーション検出 PIRアラーム 異常 アラーム入力 アラーム接点出力 アラームサーバ	
 イベント設定 妨害検知 ラインクロス エリア侵入検知	
 ネットワーク設定 TCP/IP ポート 更に追加...	
 セキュリティ設定 ユーザー オンラインユーザー ブロックと許可リスト セキュリティ管理	
 メンテナンス バックアップと復元 再起動 アップグレード 操作ログ	

4.1.1 基本情報

デバイス名やモデル名、ソフトウェアバージョン、MAC アドレスなど、基本的な情報を表示します。

設定ホーム ▶ システム設定 ▶ 基本情報	
デバイス名	HIC-SQ201W
モデル名	X024T5
ブランド	Customer
ソフトウェアバージョン	4.2.1.0(26606)
ソフトウェア構築日	2020-02-26
カーネルバージョン	20190629
ハードウェアバージョン	1.3
Onvifバージョン	19.06
OCXバージョン	2.0.6.7
MAC	00:0f:3a:a5:2b:1a

※ デバイス名の変更は、「4.2.3 OSD」の「デバイス名」にて変更できます。

4.1.2 日付と時間

デバイスの日付と時間の設定を行います。

設定ホーム ▶ システム設定 ▶ 日付と時間

タイムゾーン 日時合わせ

タイムゾーン GMT (Dublin, Lisbon, London, Reykjavik) ▼

サマータイム

自動サマータイム

手動サマータイム

開始時間 1月 ▼ 最初 ▼ 日曜日 ▼ 00 ▼ 時間

終了時間 2月 ▼ 最初 ▼ 月曜日 ▼ 00 ▼ 時間

オフセット時間 120分 ▼

保存

➤ タイムゾーン

[タイムゾーン]タブを開き、タイムゾーンの設定を行います。

タイムゾーン 日時合わせ

タイムゾーン GMT+09 (東京、大阪、名古屋、札幌、福岡、沖縄) ▼

サマータイム

自動サマータイム

手動サマータイム

開始時間 1月 ▼ 最初 ▼ 日曜日 ▼ 00 ▼ 時間

終了時間 2月 ▼ 最初 ▼ 月曜日 ▼ 00 ▼ 時間

オフセット時間 120分 ▼

保存

表示	説明
タイムゾーン	日本のタイムゾーンは、「GMT+09（東京、大阪、名古屋、札幌、福岡、沖縄）」です。
サマータイム	サマータイムを設定するには、[サマータイム]にチェックを入れ、自動サマータイムまたは手動サマータイムを選択します。手動サマータイムを選択した場合、開始時間と終了時間、オフセット時間を設定します。

➤ 日時合わせ

[日時合わせ]タブを開き、日付と時刻の設定を行います。

タイムゾーン 日時合わせ

日時調整モード

NTPサーバに同期

NTPサーバ: 更新間隔 分

パソコンの時間に同期

日付 時間

手動で設定

日付

保存

日付と時刻の設定方法

◆ NTP

[NTPサーバに同期]を選択します。

NTPサーバのアドレスを入力し、日時の更新間隔(分)を設定します。

注：NTPサーバにネットワーク経由で接続する必要があります。事前に接続確認をしてください。

◆ パソコンと時間同期

[パソコンの時間に同期]を選択します。

パソコンの時間と自動的に同期を行います。

◆ 手動

[手動で設定]を選択します。

をクリックして、カレンダーから日付を選択、時間を入力します。

※ SDカードに録画している場合、時計の時間を遅らせると、遅らせた時間分の録画は消去されます。

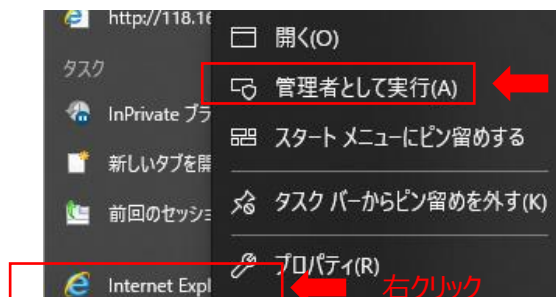
4.1.3 ローカル設定

ローカル PC の写真・録画ファイルの保存先などを設定します。

設定ホーム ▶ システム設定 ▶ ローカル設定		
静止画保存のパス	<input type="text" value="C:\Program Files\NetIPCamera"/>	<input type="button" value="保存先変更"/>
録画保存のパス	<input type="text" value="C:\Users\Hiruma\Videos\testvideo"/>	<input type="button" value="保存先変更"/>
録画音声の設定	<input type="radio"/> ON <input checked="" type="radio"/> OFF	
ビットレートを表示	<input type="radio"/> ON <input checked="" type="radio"/> OFF	
<input type="button" value="保存"/>		

表示	説明
静止画保存のパス	スナップショット画像を PC 内のフォルダに保存します。 保存先変更をクリックして保存先フォルダを指定します。
録画保存のパス	録画ビデオを PC 内のフォルダに保存します。 保存先変更をクリックして保存先フォルダを指定します。
録画音声の設定	録画ビデオに同時に音声を録画するかを指定します。 注 マイク付きのカメラのみ録音可能です。
ビットレートを表示	保存した画像やビデオファイルにビットレート表示させるか、有効(ON)または無効(OFF)を設定します。

注 動画ファイルや静止画ファイルをローカル PC に保存するためには、ブラウザ（IE）は必ず管理者権限で起動してください。



4.1.4 ストレージ

SD カードのフォーマットや、写真・録画ファイルの保存に関する項目などを設定します。



SD カードを取付けてないときは「カードがありません」と表示します。

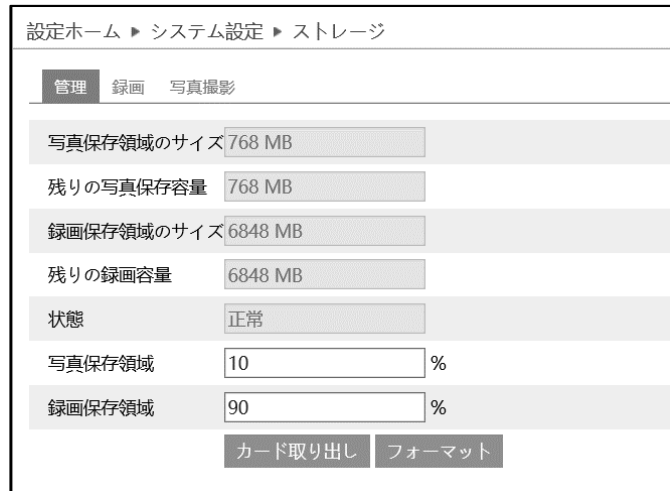
設定するときは、SD カードをカメラに取付ける必要があります。(最大 128GB)

設定ホーム ▶ システム設定 ▶ ストレージ	
管理 録画 写真撮影	
写真保存領域のサイズ	768 MB
残りの写真保存容量	768 MB
録画保存領域のサイズ	6848 MB
残りの録画容量	6848 MB
状態	正常
写真保存領域	10 %
録画保存領域	90 %
カード取り出し フォーマット	

➤ 管理

[管理]タブを開き、SD カードの容量を表示・設定します。

SD カードをカメラに取付けると、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。SD カードに録画や画像が保存されると、アイコン  は赤く点灯します。



表示	説明
写真保存領域のサイズ	SD カード内の写真を保存できる容量を表示します。
残りの写真保存容量	写真を保存できる、残りの空き容量を表示します。
録画保存領域のサイズ	SD カード内の録画を保存できる容量を表示します。
残りの録画容量	録画できる、残りの空き容量を表示します。
状態	SD カードの状態を表示します。
写真保存領域 ※	SD カードの全容量に対して、写真を保存できる割合を設定します。
録画保存領域 ※	SD カードの全容量に対して、録画を保存できる割合を設定します。
カードの取り出し	カメラから SD カードを取り出すときにクリックしてください。 取り出しをクリックする前に SD カードを取り出すとファイル破損の原因となる可能性があります。
フォーマット	SD カードを初期化します。フォーマットを行うと、SD カード内のデータはすべて消去されます。

※写真と録画の保存割合を適用するには、フォーマットする必要があります。フォーマットを行うと、SD カード内のデータはすべて消去されます。

➤ 録画

[録画]タブを開き、SD カードへの録画に関する設定を行います。

設定ホーム ▶ システム設定 ▶ ストレージ

管理 **録画** 写真撮影

録画パラメータ

録画ストリーム

プレ録画時間

上書きする

設定された時間で実行

スケジュール記録有効

消去 追加

一週間の日程

日	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
日	00:00-24:00																								手動入力
月	00:00-24:00																								手動入力
火	00:00-24:00																								手動入力
水	00:00-24:00																								手動入力
木	00:00-24:00																								手動入力
金	00:00-24:00																								手動入力
土	00:00-24:00																								手動入力

休日設定とスケジュール

日付

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
00:00-24:00																								手動入力

録画パラメータ

表示	説明
録画ストリーム	録画を行うストリームを選択します。 解像度や画質などの設定は「4.2.2 映像/音声」で設定します。
プレ録画時間	“プレ録画なし”を選択した場合、「イベント発生中の時間+アラーム保持時間」の映像を録画します。 “3 秒”または“6 秒”を選択した場合、イベント発生の 3 秒または 6 秒前の映像から録画を行います。
上書きする	SD カードの空き容量が無くなったとき、上書き録画を行うか選択します。

※ イベントによる録画は、「4.3 アラーム設定」や「4.4 イベント設定」の連携するアラーム出力で、[SD カード録画]が有効(チェックあり)のときに実行されます。

設定された時間で実行

表示	説明
スケジュール記録有効	チェックを入れると、スケジュールによる録画を行います。

スケジュールの設定方法

◆ 一週間の日程

日曜日～土曜日の一週間のスケジュールを設定します。

消去 : 録画を無効にする時間帯をタイムライン上でクリックまたはドラッグします。(白)

追加 : 録画を有効にする時間帯をタイムライン上でクリックまたはドラッグします。(緑)

手動入力 : [消去]または[追加]を選択してから、タイムライン右下の[手動入力]をクリックし、時間帯を設定します。

◆ 休日設定とスケジュール

日付を指定してスケジュールを設定します。

日付を指定し、**追加** をクリックします。その後、タイムラインでスケジュールを設定して保存します。

削除するときは、日付を選択してから **削除** をクリックします。

➤ 写真撮影

[写真撮影]タブを開き、SD カードに保存する静止画に関する設定を行います。

管理
録画
写真撮影

写真撮影パラメータ

画像フォーマット

解像度

画質

イベント発生に連動

撮影時間間隔 秒

撮影枚数

設定された時間で実行

有効にする

撮影時間間隔 秒

消去 追加

一週間の日程

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
日	00:00-24:00 手動入力
月	00:00-24:00 手動入力
火	00:00-24:00 手動入力
水	00:00-24:00 手動入力
木	00:00-24:00 手動入力
金	00:00-24:00 手動入力
土	00:00-24:00 手動入力

休日設定とスケジュール

日付 追加

削除

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00	手動入力

保存

写真撮影パラメータ

表示	説明
画像フォーマット	フォーマットを選択します。
解像度	スナップショットの解像度を選択します。
画質	画質を高い/中/低いから選択します。

※スナップショット解像度の設定は、「4.2.2 映像/音声」で行います。

イベント発生に連動

表示	説明
撮影時間間隔	「イベント発生中の時間+アラーム保持時間」の時間内で、何秒間隔でスナップショットを撮影し、SDカードに保存するか設定します。
撮影枚数	撮影時間間隔で、最大何枚のスナップショットを撮影するか設定します。

※「4.3 アラーム設定」や「4.4 イベント設定」の連携するアラーム出力で、[写真をSDカードに保存]が有効(チェックあり)のときに実行されます。

SDカードへのスナップショット保存例

[例 1] アラーム保持時間：20秒、撮影時間間隔：5秒、撮影枚数：3枚の場合

→ イベント発生時に1枚、その後5秒間隔で1枚ずつ撮影され、計3枚(最大)のスナップショットが保存されます。

アラーム保持時間	20秒		
撮影時間間隔	5	秒	
撮影枚数	3		




	時間	タイプ
1	08:23:49	■
2	08:23:44	■
3	08:23:39	■

※ここでは、イベント発生時、発生から5秒後、10秒後のスナップショットを保存しています。

[例 2] アラーム保持時間：3秒、撮影時間間隔：5秒、撮影枚数：2枚の場合

→ イベント発生時に1枚、3秒でアラーム保持時間が終了したため、5秒後のスナップショットは撮影されず、発生時の1枚のみ保存されます。

アラーム保持時間	3秒		
撮影時間間隔	5	秒	
撮影枚数	2		



	時間	タイプ
1	08:31:47	■

※アラーム保持時間が終了した時点で、それ以降のスナップショットは保存されません。

設定された時間で実行

表示	説明
有効にする	チェックを入れると、スケジュールによる写真の保存を行います。
撮影時間間隔	有効の時間帯で何秒間隔の写真を保存するのか設定します。

スケジュールの設定方法

◆ 一週間の日程

日曜日～土曜日の一週間のスケジュールを設定します。

消去：録画を無効にする時間帯をタイムライン上でクリックまたはドラッグします。(白)

追加：録画を有効にする時間帯をタイムライン上でクリックまたはドラッグします。(緑)

手動入力：[消去]または[追加]を選択してから、タイムライン右下の[手動入力]をクリックし、時間帯を設定します。

◆ 休日設定とスケジュール

日付を指定してスケジュールを設定します。

日付を指定し、**追加** をクリックします。その後、タイムラインでスケジュールを設定して保存します。

削除するときは、日付を選択してから **削除** をクリックします。

4.2 画像設定

画質調整、映像/音声、OSD、プライバシーマスク、ROI などのサブメニューがあります。

<p> システム設定 基本情報 日付と時間 ローカル設定 ストレージ</p>	<p>設定ホーム ▶ 画像設定</p>
<p> 画像設定 画質調整 映像/音声 OSD プライバシーマスク ROI</p>	<p>画像設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 画質調整 カメラの画質 (明るさ、コントラスト、彩度など) に関するパラメータを設定します ● 映像/音声 映像、音声のIPストリームを設定します。圧縮方式、解像度、フレーム数、ビットレート等を設定します。 ● OSD OSD (オンスクリーンディスプレイ) に関する設定を行います ● プライバシーマスク プライバシー保護のためのマスク設定を行います。 ● ROI ROI機能はデータサイズを保ったまま注目領域だけを高画質にします
<p> アラーム設定 モーション検出 PIRアラーム 異常 アラーム入力 アラーム接点出力 アラームサーバ</p>	
<p> イベント設定 妨害検知 ラインクロス エリア侵入検知</p>	
<p> ネットワーク設定 TCP/IP ポート 更に追加...</p>	
<p> セキュリティ設定 ユーザー オンラインユーザー ブロックと許可リスト セキュリティ管理</p>	
<p> メンテナンス バックアップと復元 再起動 アップグレード 操作ログ</p>	

4.2.1 画質調整

カメラの画質(輝度、コントラスト、彩度など)に関するパラメータを設定します。

設定ホーム ▶ 画像設定 ▶ 画質調整

カメラのパラメータ スケジュール選択



撮影設定 常時 ▼

輝度	<input type="range"/>	25
コントラスト	<input type="range"/>	50
色相	<input type="range"/>	50
彩度	<input type="range"/>	50
シャープネス	<input type="checkbox"/> <input type="range"/>	50
ノイズ除去	<input type="checkbox"/> <input type="range"/>	30
曇り鮮明化	<input type="checkbox"/> <input type="range"/>	50
BLC	オフ ▼	
フリッカ除去	オフ ▼	
ホワイトバランス	自動 ▼	
映像周波数	60HZ ▼	
昼/夜モード	自動 ▼	
感度	中 ▼	
切替遅延時間 (秒)	<input type="range"/>	2
IRモード	自動 ▼	
露出モード	自動 ▼	
ゲイン制限	<input type="range"/>	50
縦長撮影モード	0 ▼	
画像左右反転	<input type="radio"/> ON <input checked="" type="radio"/> OFF	
自動画像反転	<input type="radio"/> ON <input checked="" type="radio"/> OFF	

初期値 取り消し

➤ カメラのパラメータ

[カメラのパラメータ]タブを開き、通常・昼間・夜のモード別に、輝度やコントラストなどを設定できます。

設定ホーム ▶ 画像設定 ▶ 画質調整

カメラのパラメータ スケジュール選択

HIC-SQ201W 2022/08/08 11:06:12

撮影設定 常時

輝度 25

コントラスト 50

色相 50

彩度 50

シャープネス 50

ノイズ除去 30

曇り鮮明化 50

BLC オフ

フリッカ除去 オフ

ホワイトバランス 自動

映像周波数 60HZ

昼/夜モード 自動

感度 中

切替遅延時間 (秒) 2

IRモード 自動

露出モード 自動

ゲイン制限 50

縦長撮影モード 0

画像左右反転 ON OFF

自動画像反転 ON OFF

初期値 取り消し

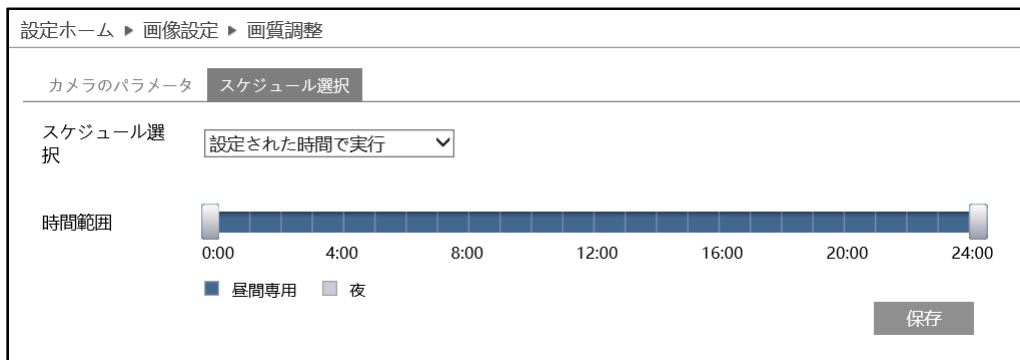
表示	説明
撮影設定	3パターンの撮影設定（常時、昼間専用、夜）を行います。 それぞれに適したパラメータを以下より設定します。
輝度	カメラ画像の明るさ調整します。
コントラスト	最も明るい部分と最も暗い部分の明るさの差を調整します。
色相	色味を調整します。
彩度	色の濃さを調整します。
シャープネス	シャープネスにチェックを入れ、有効にします。 画像の輪郭強調レベルを調整します。

ノイズ除去	ノイズ除去にチェックを入れ、有効にします。 映像に発生しているランダムノイズの除去レベルを調整します。値を大きくするとノイズは減りますが、画像の解像度は低下します。
曇り鮮明化	曇り鮮明化にチェックを入れ、有効にします。 雨、霧、靄、煙、ほこり等でぼやけた映像を補正します。必要に応じて適切な値を設定し、鮮明な画像を表示することができます。
BLC	逆光補正機能(BLC)の設定を、以下から選択します。 オフ : 逆光補正機能を無効にします。(デフォルト) HWDR : デジタル処理によるワイドダイナミック補正です。ハイライト部と暗部の両方を自動調整し、鮮明な画像に調整します。 HLC : ハイライト補正。強い光源をカバーします。 BLC : 逆光補正。逆光で陰になった部分を明るく補正します。
フリッカ除去	オフ : フリッカ除去機能をオフにします。主に屋外で使用します。 50Hz/60Hz : 50Hz または 60Hz の照明条件でちらつきを低減します。
ホワイトバランス	自動、屋内、屋外を選択した場合は、環境に応じて自動的に色温度を調整します。 マニュアルを選択した場合は、赤と青を手動で調整して色温度を設定します。
映像周波数	周波数 50Hz(PAL)と 60Hz(NTSC)が設定できます。
昼/夜モード	自動 : 昼モードと夜モードを自動で切替えます(デフォルト) 切り替えの感度(明るさ)と、切替遅延時間を設定できます。 昼間固定 : カラー撮影固定 夜間固定 : 白黒撮影固定 設定された時間で実行 : 昼モード/夜モードの切り替え時間を設定できます。
感度	昼/夜モードを切替える感度を設定します。 高い・中・低いから選択します。
切替遅延時間	昼/夜モードを切替えるときに遅延させる時間を設定します。すぐに切り替わらないようにするときは長く設定します。
IR モード	オン : IR 照明は強制点灯します。 オフ : IR 照明は点灯しません。 自動 : 自動で IR 照明を調光します。

露出モード	自動またはマニュアルから選択します。 マニュアルを選択した場合、ゲイン値とシャッター時間を設定します。
ゲイン制限	ゲイン値が高いほど、画像が明るくなり、画像のノイズが多くなります。 露出モードが自動のときは無効です。
縦長撮影モード	0,90°,180°,270°で画像を回転させます
画像左右反転	カメラ画像を左右反転させます。
自動画像反転	カメラ画像を上下反転させます。
初期値	初期値に戻します。

➤ スケジュール選択

[スケジュール選択]タブを開き、昼間と夜の時間帯を指定します。



スケジュールの設定方法

◆ 24 時間連続

“24 時間連続”を選択した場合、撮影設定は常時、自動から選択します。

◆ 設定された時間で実行

“設定された時間で実行”を選択した場合、タイムライン上の“■”をドラッグして昼間と夜の時間帯を設定します。ブルーが昼間時間、グレーが夜時間を表します。

カメラのパラメータの昼間/夜モードで“設定された時間で実行”が設定されている場合、設定されたスケジュールに従って自動的に昼間と夜に切り替わります。

4.2.2 映像/音声

映像、音声の IP ストリーム(圧縮方式や解像度、フレーム数、ビットレートなど)を設定します。

➤ 映像

[映像]タブを開き、第 1/第 2/第 3 ストリームの解像度やフレームレートなどをそれぞれ設定します。

表示	説明
解像度	カメラ画像の表示解像度を設定します。
フレームレート	フレームレートを設定します。(範囲 1 ~ 30 フレーム) フレームレートが高いほど、映像は滑らかになります。
ビットレートタイプ	VBR または CBR から選択します。 VBR : 可変ビットレート / CBR : 固定ビットレート
ビットレート (Kbps)	CBR を選択した場合、ビットレート設定ができます。 ビットレートが高いほど、画質が向上します。
ビデオ品質	VBR を選択した場合、ビデオ品質設定ができます。 品質が高いほど、より多くのビットレートが必要になります。CBR のビットレート値が分からないときは VBR を選択します。
I-フレーム間隔	I-フレームの送信間隔を設定します。
ビデオ圧縮	H.264 / H.265 / MJPG からビデオ圧縮方式を選択します。
プロフィール	H.264 を選択した場合、H.264 のプロファイルを選択します。
写真のストリーム	イベント発生時に送信する、写真のサイズ(解像度)を選択します。
ビデオエンコードスライス分割	ビデオエンコードスライス分割にチェックを入れ、有効にします。 この機能を有効にすると、低性能の PC を使用しても滑らかな画像を得ることができます。
ウォーターマーク	ウォーターマークにチェックを入れ、有効にします。 ウォーターマーク符号に透かしテキストを入力します。検索画面で、ローカルに記録されたビデオを再生する時にウォーターマークを表示できます。

➤ 音声

[音声]タブを開き、音声圧縮方式を設定します。

設定ホーム ▶ 画像設定 ▶ 映像/音声

映像 **音声**

音声形式 ▼ 音声タイプ ▼

表示	説明
音声形式	音声圧縮方式を選択します。(G711A または G711U)
音声タイプ	内蔵 MIC のみ

4.2.3 OSD

OSD (On Screen Display) に関する設定を行います。

OSD の説明を行います。

表示	説明
日付形式	<p>[日付時刻を画面表示する]にチェックを入れ、画面表示を有効にします。表示形式を選択します。ディスプレイ上に赤枠でタイムスタンプを表示します。赤枠はドラッグして位置を変更できます。(時間は最後尾に表示します)</p> <p>《 YYYY : 年、 MM : 月、 DD : 日 を表します 》</p>
デバイス名	<p>[デバイス名を画面表示する]にチェックを入れ、画面表示を有効にします。</p> <p>デバイス名を入力すると、ディスプレイ上に赤枠でデバイス名を表示します。赤枠はドラッグして位置を変更できます。</p> <p>ここで変更したデバイス名は、「4.1.1 基本情報」にも反映されます。</p>
追加 OSD	<p>チェックを入れ、追加 OSD または写真オーバーレイを有効にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 追加 OSD を選択した場合、文字列を入力するとディスプレイ上に表示されるので、ドラッグして位置を変更します。 [1 行追加]にチェックを入れると、文字列をもう 1 行追加できます。 写真オーバーレイを選択した場合、写真を表示することができます。 <p>保存先変更から写真を指定し、アップロードをクリックします。</p>

4.2.4 プライバシーマスク

プライバシーマスクに関する設定を行います。プライバシーマスクは最大 4 か所に設定できます。



プライバシーマスクの設定

- ① [有効]にチェックを入れ、プライバシーマスクを有効にします。
- ② [エリアを描く]をクリックし、ディスプレイ上でマウスを右クリックしながらドラッグしてプライバシーマスクを描画します。プライバシーマスクは 4 か所まで設定できます。
- ③ [描画を終了]をクリックします。プライバシーマスクの描画を終了します。
- ④ [クリア]をクリックするとプライバシーマスクを全て削除します。
- ⑤ [保存]をクリックして、設定したプライバシーマスクを保存します。


4.2.5 ROI

ROI (Region of Interest) に関する設定を行います。

ROI は、設定した領域の画像をほかの領域より高精細にします。



ROI の設定

- ① [有効]にチェックを入れ、ROI を有効にします。
- ② [エリアを描く]をクリックし、ディスプレイ上でマウスを左クリックしながらドラッグして ROI 領域を描画します。ROI 領域は3か所まで設定できます。
- ③ [描図を終了]をクリックすると、ROI 領域の描画を終了します。
- ④ [クリア]をクリックすると ROI 領域を消去します。
- ⑤ スライドの  をドラッグして ROI レベルを調整します。
- ⑥ [保存]をクリックして、設定した ROI 領域を保存します。

4.3 アラーム設定

モーション検出、PIR（人感センサー）アラーム、異常、アラーム入力、アラーム接点出力、アラームサーバなどのサブメニューがあります。




 システム設定 基本情報 日付と時間 ローカル設定 ストレージ	設定ホーム ▶ アラーム設定
 画像設定 画質調整 映像/音声 OSD プライバシーマスク ROI	アラーム設定
 アラーム設定 モーション検出 PIRアラーム 異常 アラーム入力 アラーム接点出力 アラームサーバ	<ul style="list-style-type: none"> ● モーション検出 動体検出の検出エリアの設定や、感度、連携動作、動作スケジュールを設定します。 ● PIRアラーム alarmPIR_note ● 異常 異常アラームの関連パラメータを設定し、異常アラームに連動させる動作も設定します。 ● アラーム入力 アラーム接点入力の設定と、連携動作、および動作スケジュールを設定します。 ● アラーム接点出力 アラーム接点出力に関する設定を行います。 ● アラームサーバ アラームサーバに関する設定を行います。
 イベント設定 妨害検知 ラインクロス エリア侵入検知	
 ネットワーク設定 TCP/IP ポート 更に追加...	
 セキュリティ設定 ユーザー オンラインユーザー ブロックと許可リスト セキュリティー管理	
 メンテナンス バックアップと復元 再起動 アップグレード 操作ログ	

4.3.1 モーション検出

モーション検出のエリア設定や感度、連携アラーム、スケジュールを設定します。

➤ アラーム設定

[アラーム設定]タブを開き、モーション検出のアラームを設定します。

表示	説明
有効	モーション検出を有効にする場合は、チェックを入れます。 有効である場合、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。 モーションを検出すると、アイコン  は赤く点滅します。
アラーム保持時間	モーションアラームの持続時間を設定します。 持続している間は、ライブ画面上でアイコン  が赤く点滅しています。 3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。
連携するアラーム出力	モーション検出では、以下の 5 つのアラームを設定できます。 アラーム接点出力、写真を SD カードに保存、SD カード録画、E メールを送信、FTP ファイル転送 ※各アラームの説明は、次の 連携するアラーム出力 を参照してください。
保存	設定を保存します。

連携するアラーム出力

◆ アラーム接点出力

[アラーム接点出力]にチェックを入れると、カメラに接続している外部リレー出力がトリガーされます。

アラーム出力に関する設定は、「4.3.5 **アラーム接点出力**」で行う必要があります。

◆ 写真をSDカードに保存

チェックを入れると、検出時に画像をキャプチャしSDカードに保存します。

キャプチャ画像の解像度は、「4.2.2 **映像/音声**」の写真のストリームで設定します

SDカードへの画像保存に関する設定は、「4.1.4 **ストレージ**」の「写真撮影」で行う必要があります。

SDカードへのスナップショット保存例

[例 1] アラーム保持時間：20秒、撮影時間間隔：5秒、撮影枚数：3枚の場合

→ イベント発生時に1枚、その後5秒間隔で1枚ずつ撮影され、計3枚(最大)のスナップショットが保存されます。



※ここでは、イベント発生時、発生から5秒後、10秒後のスナップショットを保存。

[例 2] アラーム保持時間：3秒、撮影時間間隔：5秒、撮影枚数：2枚の場合

→ イベント発生時に1枚、アラーム保持時間が3秒で終了したため、5秒後のスナップショットは撮影されず、発生時の1枚のみ保存されます。



※アラーム保持時間が終了した時点で、それ以降のスナップショットは保存されません。

◆ SD カード録画

チェックを入れると、検出時のビデオが SD カードに保存されます。

SD カードへの録画に関する設定は、「4.1.4 ストレージ」の「録画」で行う必要があります。

◆ E メール

[E メールを送信]にチェックを入れると、E メールによる通知が有効になります。

通知メールの送信先をリストから選択し、メールの件名と内容を入力します。検出時の写真を添付する場合は[写真添付]にチェックを入れます。

<input checked="" type="checkbox"/> メールを送信	
メールの送信先	<input checked="" type="checkbox"/> 写真添付
<input checked="" type="checkbox"/> [redacted]@hytec.co.jp	<input checked="" type="checkbox"/> 写真添付
<input checked="" type="checkbox"/> [redacted]@yahoo.co.jp	<input checked="" type="checkbox"/> 写真添付
<input checked="" type="checkbox"/> [redacted]@gmail.com	<input type="checkbox"/> 写真添付
メールの件名	<input type="text"/>
メールの内容	<input type="text"/>

E メール通知の送受信に関する設定は、「4.5.9 Email」で事前に行う必要があります。

◆ FTP ファイル転送

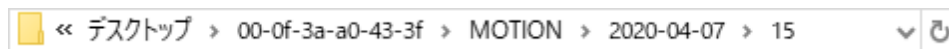
チェックを入れると、FTP サーバへのファイル転送が有効になります。

FTP サーバをリストから選択し、検出時の写真を添付する場合は[写真添付]にチェックを入れます。

<input checked="" type="checkbox"/> FTPファイル転送	
サーバアドレス	
<input checked="" type="checkbox"/> 172.16.2.3	<input checked="" type="checkbox"/> 写真添付

FTP サーバに関する設定は、「4.5.10 FTP」で事前に行う必要があります。

ログファイルとスナップショットは、《 指定フォルダ > MAC アドレス > イベント名 > 日付 > 時間 》に保存されます。



(1) 写真添付なしの場合

イベント発生時に、ログファイルが転送されます。

(2) 写真添付ありの場合

イベント発生時に、ログファイルとスナップショット 1 枚が転送されます。アラーム保持時間(5 秒)が経過後、スナップショット 1 枚が転送されます。

名前	日付時刻	種類	サイズ
MOTION_20200221103150.txt	2020/04/23 9:33	テキストドキュメント	1 KB
MOTION_20200221103150_163.jpg	2020/04/23 9:33	JPG ファイル	47 KB
MOTION_20200221103155_97.jpg	2020/04/23 9:33	JPG ファイル	48 KB

(3) イベント発生時間がアラーム保持時間を超える場合

イベント発生時に、ログファイルとスナップショット 1 枚が転送されます。アラーム保持時間を経過するとにスナップショット 1 枚が転送されます。

[例] イベント発生時間：25 秒、アラーム保持時間：10 秒の場合

イベント発生時に「ログファイル」と「スナップショット 1 枚」、

1・2 回目のアラーム保持時間経過後に「スナップショット 1 枚ずつ(計 2 枚)」、

3 回目のアラームの途中でイベントが終了し、アラーム保持時間経過後に「最後のスナップショット 1 枚」

名前	日付時刻	種類	サイズ
SENSOR1_20200221111800.txt	2020/04/23 10:20	テキストドキュメント	1 KB
SENSOR1_20200221111800_127.jpg	2020/04/23 10:20	JPG ファイル	34 KB
SENSOR1_20200221111810_195.jpg	2020/04/23 10:20	JPG ファイル	30 KB
SENSOR1_20200221111820_120.jpg	2020/04/23 10:20	JPG ファイル	28 KB
SENSOR1_20200221111830_140.jpg	2020/04/23 10:20	JPG ファイル	29 KB

➤ エリアと感度

[エリアと感度]タブを開き、モーション検出エリアと感度を設定します。



モーション検出エリアの設定

- (1) **エリアを描く** をクリックし、[追加]を選択してディスプレイ上でマウスをドラッグすると検出エリアを描画できます。[削除]を選択して検出エリア上でマウスをドラッグすると、検出エリアを一部分消去できます。



- (2) **描画を終了** をクリックすると、検出エリアの描画を終了します。
- (3) **全領域を選択** をクリックすると、全領域が検出エリアとなります。**すべてクリア** をクリックすると、検出エリアがすべて消去されます。**反転領域反転** をクリックすると、検出エリアと未検出エリアが反転します。
- (4) 感度を設定します。数値が大きいほど感度は高くなります。



- (5) **保存** をクリックし、検出エリアを保存します。

➤ スケジュール選択

[スケジュール選択]タブを開き、モーション検出のスケジュールを設定します。

スケジュールの設定方法

◆ 一週間の日程

日曜日～土曜日の一週間のスケジュールを設定します。

消去：モーション検出を無効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(白)

追加：モーション検出を有効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(緑)

手動入力：[消去]または[追加]を選択してから、タイムライン右下の[手動入力]をクリックし、時間帯を設定します。

◆ 休日設定とスケジュール

日付を指定してスケジュールを設定します。

日付を指定し、**追加** をクリックします。その後、タイムラインでスケジュールを設定して保存します。

削除するときは、日付を選択してから **削除** をクリックします。

4.3.2 PIR（人感センサー）アラーム

PIR(人感センサー)による検出時の、連携アラーム、スケジュールを設定します。

➤ アラーム設定

[アラーム設定]タブを開き、人感センサーのアラームを設定します。

設定ホーム ▶ アラーム設定 ▶ PIRアラーム

アラーム設定 スケジュール選択

有効

アラーム保持時間 20秒

連携するアラーム出力

アラーム接点出力




写真をSDカードに保存

SDカード録画

Eメールを送信

FTPファイル転送

保存

表示	説明
有効	PIR 検出を有効にする場合は、チェックを入れます。 有効である場合、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。 PIR を検出すると、アイコン  は赤く点滅します
アラーム保持時間	アラームの持続時間を設定します。 持続している間は、ライブ画面上でアイコン  が赤く点滅しています。 3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。
連携するアラーム出力	PIR アラームでは、以下の 5 つのアラームを設定できます。 アラーム接点出力、写真を SD カードに保存、SD カード録画、E メールを送信、FTP ファイル転送 ※各アラームの説明は、4.3.1 の 連携するアラーム出力 を参照してください。
保存	設定を保存します。

➤ スケジュール選択

[スケジュール選択]は、4.3.1 の [「スケジュール選択」](#) を参照してください。

4.3.3 異常

異常アラーム関連のパラメータ、連動アラームを設定します。

➤ SD カードフル

[SD カードフル]タブを開き、SD カードの容量が一杯になったときのアラームを設定します。

表示	説明
有効	SD カードの容量が一杯になったときに通知する場合は、チェックを入れます。
アラーム保持時間	アラームの持続時間を設定します。 3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。
連携するアラーム出力	SD カードフルでは、以下の 3 つのアラームを設定できます。 アラーム接点出力、E メールを送信、FTP ファイル転送 ※各アラームの説明は、4.3.1 の 連携するアラーム出力 を参照してください。
保存	設定を保存します。

➤ SD カードエラー

[SD カードエラー]タブを開き、SD カードへの書き込みにエラーが生じたときのアラームを設定します。

設定ホーム ▶ アラーム設定 ▶ 異常

SDカードフル SDカードエラー ipアドレスの競合が検出されました LANケーブル接続不良

有効

アラーム保持時間

連携するアラーム出力

アラーム接点出力

Eメールを送信

FTPファイル転送

表示	説明
有効	SD カードへの書き込みにエラーがあること通知する場合は、チェックを入れます。
アラーム保持時間	アラームの持続時間を設定します。 3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。
連携するアラーム出力	SD カードエラーでは、以下の 3 つのアラームを設定できます。 アラーム接点出力、Eメールを送信、FTP ファイル転送 ※各アラームの説明は、4.3.1 の 連携するアラーム出力 を参照してください。
保存	設定を保存します。

➤ IPアドレスの競合

[IPアドレスの競合が検出されました]タブを開き、IPアドレスが競合した場合のアラームを設定します。

表示	説明
有効	IPアドレスの競合を検出されたとき通知する場合は、チェックを入れます。
アラーム維持時間	アラームの保持時間を設定します。 3秒、5秒、10秒、20秒、30秒、60秒、2分から選択します。
連携するアラーム出力	IPアドレスの競合エラーでは、以下のアラームを設定できます。 アラーム接点出力 ※各アラームの説明は、4.3.1の 連携するアラーム出力 を参照してください。
保存	設定を保存します。

➤ LAN ケーブル接続不良

[LAN ケーブル接続不良]タブを開き、ネットワーク接続にエラーが生じたときのアラームを設定します。

設定ホーム ▶ アラーム設定 ▶ 異常

SDカードフル SDカードエラー ipアドレスの競合が検出されました **LANケーブル接続不良**

有効

アラーム保持時間

連携するアラーム出力

アラーム接点出力

保存

表示	説明
有効	LAN ケーブル接続不良を通知する場合は、チェックを入れます。
アラーム保持時間	アラームの保持時間を設定します。 3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。
連携するアラーム出力	LAN 接続不良エラーでは、以下のアラームを設定できます。 アラーム接点出力 ※各アラームの説明は、4.3.1 の 連携するアラーム出力 を参照してください。
保存	設定を保存します。

4.3.4 アラーム入力

センサーアラームの関連パラメータ、連動アラームを設定します。

表示	説明
有効	アラーム入力があるときに通知する場合は、チェックを入れます。
接点形式	接点形式を選択します。 N.O. : A 接点。通常 = OFF N.C. : B 接点。通常 = ON
アラーム保持時間	アラームの持続時間を設定します。 3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。
センサー名	表示するセンサー名を設定します。
連携するアラーム出力	以下の 5 つのアラームを設定できます。 アラーム接点出力、写真をカードに保存、SD カード録画、E メールを送信、FTP ファイル転送 ※各アラームの説明は、4.3.1 の 連携するアラーム出力 を参照してください。
保存	設定を保存します。

➤ スケジュール選択

[スケジュール選択]は、4.3.1 節の「[スケジュール選択](#)」を参照してください。

4.3.5 アラーム接点出力

センサーアラームの出力についての関連パラメータを設定します。次の4つのアラーム出力モードから選択します。アラーム連動、手動操作、昼/夜の切替えとの連動、設定された時間で実行。

➤ アラーム連動

イベントの検出(モーション検出やラインクロスなど)に連動して、アラームを出力します。

アラーム出力を行う場合、各イベントの設定で[アラーム接点出力]にチェックを入れる必要があります。

設定ホーム ▶ アラーム設定 ▶ アラーム接点出力

アラーム出力モード

アラーム出力名

アラーム保持時間

表示	説明
アラーム出力モード	アラーム連動を選択します。
アラーム出力名	アラーム出力名を設定します。例：alarmOut1
アラーム保持時間	アラームの持続時間を設定します。 イベントのアラーム持続時間が終了した後の、アラーム出力によるアラーム持続時間を設定します。 3秒、5秒、10秒、20秒、30秒、60秒、2分、常時から選択します。
保存	設定を保存します。

※ 接点形式：N.O. (Normally Open)、A接点 通常 OFF

➤ 手動操作

手動でアラーム接点出力の ON/OFF を操作します。

設定ホーム ▶ アラーム設定 ▶ アラーム接点出力

アラーム出力モード

手動操作

表示	説明
アラーム出力モード	手動操作を選択します。
手動操作	ON または OFF をクリックしてアラーム接点出力を切り替えます。
保存	設定を保存します。

➤ 昼/夜の切り替えとの連動

カメラが昼間モードまたは夜モードに切り替わったときに、アラームを出力します。

設定ホーム ▶ アラーム設定 ▶ アラーム接点出力

アラーム出力モード

昼間専用

夜

表示	説明
アラーム出力モード	昼/夜の切り替えとの連動を選択します。
昼間専用	昼間モードの時に、アラームを ON または OFF にするのか選択します。
夜	夜モードの時に、アラームを ON または OFF にするのか選択します。
保存	設定を保存します。

※ 接点形式 : N.O. (Normally Open) 、A 接点 通常 OFF

➤ 設定された時間で実行

指定した時間にアラームを ON にします。

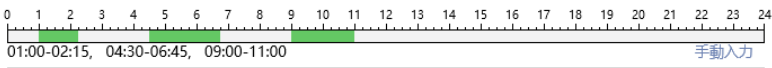
設定ホーム ▶ アラーム設定 ▶ アラーム接点出力

アラーム出力モード

○ 消去 ● 追加

時間範囲

[手動入力](#)

表示	説明
アラーム出力モード	設定された時間で実行を選択します。
時間範囲	<p>緑ラインのときに、アラームが ON になります。</p> <p>消去(OFF)/追加(ON)を選択してから、手動入力をクリックして時間を指定するか、マウスをドラッグして時間を設定します。</p> 
保存	設定を保存します。

※ 接点形式 : N.O. (Normally Open) 、A 接点 通常 OFF

4.3.6 アラームサーバ

アラームサーバを設定します。アラームが発生すると、アラームイベントをアラームサーバに転送します。

設定ホーム ▶ アラーム設定 ▶ アラームサーバ

サーバアドレス	<input style="width: 60%;" type="text"/>
ポート	<input style="width: 60%;" type="text" value="0"/>
ハートビート	<input style="width: 60%;" type="text" value="無効にする"/> ▼
ハートビート間隔	<input style="width: 60%;" type="text" value="30"/> 秒

ハートビートとは、カメラが正常に動作していることを通知すること。また、通知の一定間隔を設定します。

表示	説明
サーバアドレス	アラームサーバ（NVMS-2.0）のアドレスを設定します。
ポート	アラームサーバ（NVMS-2.0）のポート番号を設定します。
ハートビート	カメラが正常に動作していることを通知します。
ハートビート間隔	ハートビートの通知間隔を設定します。
OK	設定を保存します。

4.4 イベント設定

妨害検知、ラインクロス、エリア侵入検知、のサブメニューがあります。

注：ラインクロスとエリア侵入検知は同時に設定できません。

<p> システム設定 基本情報 日付と時間 ローカル設定 ストレージ</p>	設定ホーム ▶ イベント設定
<p> 画像設定 画質調整 映像/音声 OSD プライバシーマスク ROI</p>	<p>イベント設定</p>
<p> アラーム設定 モーション検出 PIRアラーム 異常 アラーム入力 アラーム接点出力 アラームサーバ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 妨害検知 カメラへの妨害を検知します (向きを変える、ピンボケ、カメラを隠す等)
<p> イベント設定 妨害検知 ラインクロス エリア侵入検知</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ラインクロス 指定したラインを指定方向に超えたことを検知します
<p> ネットワーク設定 TCP/IP ポート 頁に追加...</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● エリア侵入検知 指定した領域に外部から侵入したことを検知します
<p> セキュリティ設定 ユーザー オンラインユーザー ブロックと許可リスト セキュリティ管理</p>	
<p> メンテナンス バックアップと復元 再起動 アップグレード 操作ログ</p>	

4.4.1 妨害検知

カメラへの妨害を検知します。（カメラの向きが急に変わる。ピンボケになる。カメラを隠す。）

➤ 検出設定

[検出設定]タブを開き、妨害検知によるアラームを設定します。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ 妨害検知

検出設定 感度

急激なシーン変化検出

不鮮明画像（ピンボケ）検出

映像妨害（隠す、塞ぐ）検出

アラーム保持時間 20秒 ▾

連携するアラーム出力

アラーム接点出力







写真をSDカードに保存

SDカード録画

Eメールを送信

FTPファイル転送

保存

表示	説明
急激なシーン変化検出	急激なシーン変化検出を有効にする場合は、チェックを入れます。 有効に設定したとき、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。 カメラの向きが急に変わるなどを検出すると、アイコン  は赤く点滅します。
不鮮明画像検出 （ピンぼけ）	不鮮明画像検出を有効にする場合は、チェックを入れます。 有効に設定したとき、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます ピンボケなどを検出すると、アイコン  は赤く点滅します。
映像妨害検出 （隠す、塞ぐ）	映像妨害検出を有効にする場合は、チェックを入れます。 有効である場合、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。 カメラが隠されるなどを検出すると、アイコン  は赤く点滅します。
アラーム保持時間	アラームの持続時間を設定します。 3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。

連携するアラーム出力	以下の5つのアラームを設定できます。 アラーム接点出力、写真をカードに保存、SDカード録画、Eメールを送信、FTPファイル転送 ※各アラームの説明は、4.3.1の 連携するアラーム出力 を参照してください。
保存	設定を保存します。

➤ 感度

検出感度を設定します。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ 妨害検知

検出設定 **感度**

感度 1

保存



表示	説明
感度	妨害検知する感度を設定します。値が大きいほど感度は高くなります。
保存	設定を保存します。

4.4.2 ラインクロス（ライン超え検知）

画面上に設定したライン上を人や車が設定した方向に通過すると検知します。

➤ 検出設定

[検出設定]タブを開き、ラインクロスによるアラームを設定します。

表示	説明
有効	ラインクロスを有効にする場合は、チェックを入れます。 有効に設定したとき、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。 ラインクロスを検出すると、アイコン  は赤く点滅します。
アラーム保持時間	アラームの持続時間を設定します。 3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。 持続している間は、ライブ画面上でアイコンが赤く点滅しています。
連携するアラーム出力	以下の 5 つのアラームを設定できます。 アラーム接点出力、写真を SD カードに保存、SD カード録画、E メールを送信、FTP ファイル転送 ※各アラームの説明は、4.3.1 の 連携するアラーム出力 を参照してください。
保存	設定を保存します。

➤ エリア

[エリア]タブを開き、ラインクロスを検出エリアを設定します。



表示	説明
検出ライン	検出ラインを選択します。検出ラインは最大 4 パターン設定できます。
検出方向	設定した検出ラインを通過する方向を設定します。 A → B、B → A、A ⇔ B
エリアを描く/作図終了	検出ラインを画面上に描画します。
クリア	設定した検出ラインを削除します。
保存	設定を保存します。

ラインクロスのライン設定

- ① 検出ラインと検出方向を選択します。
- ② **エリアを描く** をクリックし、ディスプレイ上でドラッグし検出ラインを作成します。
- ③ **描画を終了** をクリックすると、検出ラインの描画を終了します。
- ④ **クリア** をクリックすると、検出ラインが削除されます
- ⑤ **保存** をクリックし、検出ラインを保存します。



➤ スケジュール選択

[スケジュール選択]タブを開き、ラインクロス検出のスケジュールを設定します。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ ラインクロス

検出設定 エリア **スケジュール選択**

消去 追加

一週間の日程

日 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

月 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

火 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

水 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

木 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

金 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

土 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

休日設定とスケジュール

日付

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

スケジュールの設定方法

◆ 一週間の日程

日曜日～土曜日の一週間のスケジュールを設定します。

消去：ラインクロス検出を無効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(白)

追加：ラインクロス検出を有効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(緑)

手動入力：[消去]または[追加]を選択してから、タイムライン右下の[手動入力]をクリックし、時間帯を設定します。

◆ 休日設定とスケジュール

日付を指定してスケジュールを設定します。

日付を指定し、 をクリックします。その後、タイムラインでスケジュールを設定して保存します。

削除するときは、日付を選択してから をクリックします。

4.4.3 エリア侵入検知

指定したエリアに侵入したことを検知します。

➤ 検出設定

[検出設定]タブを開き、指定したエリアに侵入したときのアラームを設定します。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ エリア侵入検知

検出設定 エリア スケジュール選択

有効

アラーム保持時間 20秒 ▼

連携するアラーム出力

アラーム接点出力



写真をSDカードに保存

SDカード録画

Eメールを送信

FTPファイル転送

保存

表示	説明
有効	エリア侵入による検出を有効にする場合は、チェックを入れます。 有効に設定したとき、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。 エリア侵入を検出すると、アイコン  は赤く点滅します。
アラーム保持時間	アラームの持続時間を設定します。 3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。 持続している間は、ライブ画面上でアイコンが赤く点滅しています。
連携するアラーム出力	以下の 5 つのアラームを設定できます。 アラーム接点出力、写真を SD カードに保存、SD カード録画、E メールを送信、FTP ファイル転送 ※各アラームの説明は、4.3.1 の 連携するアラーム出力 を参照してください。
保存	設定を保存します。

➤ エリア

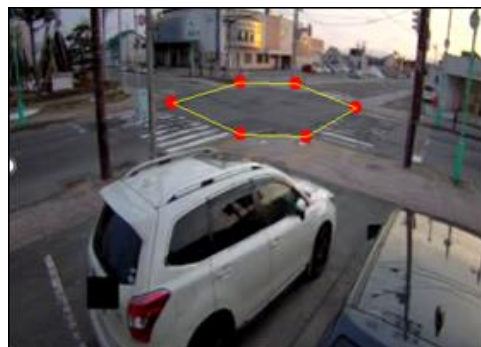
[エリア]タブを開き、エリア侵入検知の検出エリアを描画します。



表示	説明
検出領域	検出領域を選択します。検出領域は最大 4 パターン設定できます。
エリアを描く/描画を終了	検出ラインを画面上に描画します。 マウスで画面上にクリックすると赤い点が表示されます。囲むようにクリックします。
クリア	検出エリアを削除します。
保存	設定を保存します。

エリア侵入検知のエリア設定

- ① 検出領域を選択します。最大 4 つ設定できます。
- ② **エリアを描く** をクリックし、ディスプレイ上でクリックし赤丸を 4~6 つ置き、線で繋ぎエリア侵入検知エリアを作成します。
- ③ **描画を終了** をクリックすると、検出エリアの描画を終了します。
- ④ **クリア** をクリックすると、検出エリアが削除されます。
- ⑤ **保存** をクリックし、検出エリアを保存します。



➤ スケジュール選択

[スケジュール選択]タブを開き、エリア侵入検知のスケジュールを設定します。

スケジュールの設定方法

◆ 一週間の日程

日曜日～土曜日の一週間のスケジュールを設定します。

消去：エリア侵入検知を無効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(白)

追加：エリア侵入検知を有効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(緑)

手動入力：[消去]または[追加]を選択してから、タイムライン右下の[手動入力]をクリックし、時間帯を設定します。

◆ 休日設定とスケジュール

日付を指定してスケジュールを設定します。

日付を指定し、**追加** をクリックします。その後、タイムラインでスケジュールを設定して保存します。

削除するときは、日付を選択してから **削除** をクリックします。

4.5 ネットワーク

TCP/IP、ポート、サーバ、DDNS、SNMP、802.1X、RTSP、UPnP、Email、FTP、HTTPS、QoS、Wi-Fi などのサブメニューがあります。

<p>システム設定 基本情報 日付と時間 ローカル設定 ストレージ</p>	<p>設定ホーム ▶ ネットワーク設定</p>
<p>画像設定 画質調整 映像/音声 OSD プライバシーマスク ROI</p>	<p>ネットワーク設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ● TCP/IP ネットワークの設定を行います (IPアドレス、DNSサーバ、PPPoEなど) ● ポート HTTP、HTTPS、データ、RTSPなどのポート設定。 ● サーバ 認証サーバを設定します。 ● DDNS DDNSサーバを設定します。 ● SNMP ネットワーク機器を監視しネットワーク障害の原因を突き止めます ● 802.1X デバイスの認証モードを手動で選択できるようにします。 ● RTSP リモートビデオストリーミングを使用する場合はRTSPを設定します ● UPnP ネットワークに接続する機器同士を接続しやすくします。 ● Email Eメールに関する設定を行います。 ● FTP FTPサーバの設定を行います。 ● HTTPS httpsはSSLを利用したhttp通信です。SSLは通信を暗号化し、安全にWeb情報のやりとりを行うことができます。 ● QoS ネットワーク機器に QoSを実装することで、ある特定の通信を優先して伝送させたり、帯域幅を確保することができます。 ● WIFI ネットワーク接続を実現するためにWiFiパラメータを設定します
<p>アラーム設定 モーション検出 PIRアラーム 異常 アラーム入力 アラーム接点出力 アラームサーバ</p>	
<p>イベント設定 妨害検知 ラインクロス エリア侵入検知</p>	
<p>ネットワーク設定 TCP/IP ポート 更に追加...</p>	
<p>セキュリティ設定 ユーザー オンラインユーザー ブロックと許可リスト セキュリティー管理</p>	
<p>メンテナンス バックアップと復元 再起動 アップグレード 操作ログ</p>	

4.5.1 TCP/IP

ネットワークの設定を行います。(IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、PPPoE など)

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ TCP/IP

IPv4 IPv6 PPPoE設定 IP変更通知設定

自動的にIPアドレスを取得する

以下のIPアドレスを使う

IPアドレス

サブネットマスク

ゲートウェイ

優先DNSサーバ

代替DNSサーバ

➤ IPv4

IPv4 の設定方法

◆ 自動的に IP アドレスを取得する

DHCP より自動的に IP アドレスを取得します。

◆ 以下の IP アドレスを使う

IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS サーバを手動で設定・変更する必要があります。

をクリックすると、IP アドレスが使えるのか(競合していないか)確認することができます。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ TCP/IP

IPv4 IPv6 PPPoE設定 IP変更通知設定

自動的にIPアドレスを取得する

以下のIPアドレスを使う

IPアドレス

サブネットマスク

ゲートウェイ

優先DNSサーバ

代替DNSサーバ

➤ IPv6 アドレス

IPv6 の設定方法

◆ **自動的に IP アドレスを取得する**

DHCP より自動的に IP アドレスを取得します。

◆ **以下の IP アドレスを使う**

IP アドレス、サブネットプレフィックス長さ、ゲートウェイを手動で設定・変更する必要があります

➤ PPPoE 設定

有効にチェックを入れ、PPPoE を有効にします。

ISP(プロバイダ)から提供された、ユーザー名とパスワードを入力し、保存をクリックします。

WAN IP を取得すると、インターネットに接続できます。

➤ IP 変更通知設定

デバイスの IP アドレスを変更すると、新しい IP アドレスが自動的にメールまたは FTP に送信されます。

The screenshot shows a web interface for configuring IP change notifications. The breadcrumb path is '設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ TCP/IP'. There are four tabs: 'IPv4', 'IPv6', 'PPPoE設定', and 'IP変更通知設定' (which is selected). Under the 'IP変更通知設定' tab, there are two main sections. The first section is 'Eメールを送信', which has a checked checkbox. Below it is a list of email addresses to send notifications to: '@hytec.co.jp', '@gmail.com', and '@yahoo.co.jp', each with an unchecked checkbox. The second section is 'FTPファイル転送', which also has a checked checkbox. Below it is a field for 'サーバアドレス' with the value '172.16.2.3' and an unchecked checkbox. At the bottom right, there is a '保存' (Save) button.

[Eメールを送信]にチェックを入れると、Eメールによる通知が有効になります。

通知メールの送信先をリストから選択します。

※Eメール通知の送受信に関する設定は、「4.5.9 **Email**」で事前に行う必要があります。

[FTPファイル]にチェックを入れると、FTPサーバへのファイル転送が有効になります。

FTPサーバをリストから選択します。

※FTPサーバに関する設定は、「4.5.10 **FTP**」で事前に行う必要があります。

保存 をクリックして、設定を保存します。

4.5.2 ポート

HTTP、HTTPS、データ、RTSP のポート番号を設定します。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート	サーバ	DDNS	SNMP	802.1X	RTSP	UPnP	Email	FTP	HTTPS	QoS	WIFI
HTTPポート	<input type="text" value="80"/>										
HTTPSポート	<input type="text" value="443"/>										
データポート	<input type="text" value="9008"/>										
RTSPポート	<input type="text" value="554"/>										
<input type="button" value="保存"/>											

表示	説明
HTTP ポート	HTTP プロトコルで制御を行うポートです。(初期値 : 80)
HTTPS ポート	HTTPS プロトコルで制御を行うポートです。(初期値 : 443)
データポート	カメラ制御を行うポートです。(初期値 : 9008)
RTSP ポート	RTSP プロトコル制御を行うポートです。(初期値 : 554)
保存	設定を保存します。

4.5.3 サーバ

認証サーバを設定します。この機能は、主にネットワークビデオ管理システムの接続に使用されます。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定											
ポート	サーバ	DDNS	SNMP	802.1X	RTSP	UPnP	Email	FTP	HTTPS	QoS	WIFI
<input checked="" type="checkbox"/> 有効											
サーバポート	<input type="text" value="2009"/>										
サーバアドレス	<input type="text" value="*****.autoddns.com"/>										
デバイスID	<input type="text" value="1"/>										
<input type="button" value="保存"/>											

サーバを設定します。

- ① 有効にチェックを入れ、サーバを有効にします。
- ② ECMS/NVMS の転送メディアサーバの IP アドレスと自動レポートポートを確認します。
- ③ ECMS/NVMS に新しいデバイスを追加するとき、自動レポートを確認します。
- ④ デバイスの情報を ECMS/NVMS に入力します。
- ⑤ システムはすべてのデバイス ID を自動的に表示します。ECMS/NVMS で確認してください。
- ⑥ 上記のサーバアドレス、サーバポート、デバイス ID を入力します。
- ⑦ をクリックして、設定を保存します。

4.5.4 DDNS

DDNS サーバを設定します。

DDNS 設定方法

いくつかの DDNS タイプが選択されている場合、サーバアドレスとドメイン名を入力する必要があります。DNS ウェブサイトにアクセスしてドメイン名を登録し、ここに登録されたドメイン情報を入力してください。

《例》 **www.dvrdydns.com** をサーバとした場合

- ① IE アドレスバーに **www.dvrdydns.com** を入力し、DDNS ウェブサイトにアクセスしてください。

- ② [Registration (登録)] ボタンをクリックすると、以下のようにインタフェースに進みます。DDNS アカウント情報 (ユーザ名、パスワードなど) を設定し、[Submit (送信)] ボタンをクリックして、アカウントを保存します。

Logon
Registration

Welcome to DvrDydns

Create a user account or choose existing users below to begin.

DDNS account creation.

NEW USER REGISTRATION

USER NAME	<input type="text"/>
PASSWORD	<input type="password"/>
PASSWORD CONFIRM	<input type="password"/>
FIRST NAME	<input type="text"/>
LAST NAME	<input type="text"/>
SECURITY QUESTION.	My first phone number. ▾
ANSWER	<input type="text"/>
CONFIRM YOU'RE HUMAN	<p>7+8=</p> <p>New Captcha</p> <input type="text"/> <p>Solve the problem above.</p>

Submit Reset

Already have an account? [Click here to logon.](#)

- ③ ドメイン名を作成し、[Request Domain (ドメインの要求)]をクリックします。

User Settings
Domains
Logout

Domain Name Creation

Enter a new domain name below.

You must create a domain name to continue.

Domain name must start with (a-z, 0-9), must be least 3 char!. Cannot end or start, but may contain a hyphen and is not case-sensitive.

▾ Request Domain

- ④ ドメイン名を要求すると、ドメイン名の情報がリストに表示されます。

User Settings
Domains
Logout

My Domains

Your domain names are listed below. Choose create new domain to add additional domain names.

Your domain was successfully created.

Search by Domain. Search

Click a name to edit your domain settings.

NAME	STATUS	DOMAIN
HTC1234	✓	htc1234.dvrdydns.com

Last Update: *Not yet updated* IP Address: 203.141.138.227

Create additional domain names

[1]

- ⑤ DDNS 設定を開きます。DDNS を有効にし、DDNS タイプは `www.dvrdydns.com` を選択します。登録したユーザー名、パスワード、ドメイン名を入力し、[保存]をクリックします。

The screenshot shows a web interface for configuring DDNS. The breadcrumb path is "設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定". A navigation bar contains tabs for "ポート", "サーバ", "DDNS", "SNMP", "802.1X", "RTSP", "UPnP", "Email", "FTP", "HTTPS", "QoS", and "WIFI". The "DDNS" tab is selected. Below the navigation bar, there is a checkbox labeled "有効" which is checked. There are four input fields: "サーバ選択" (a dropdown menu showing "www.dyndns.com"), "ユーザー名", "パスワード", and "ドメイン". A "保存" button is located at the bottom right of the form area.

- ⑥ ルータの IP アドレスと HTTP ポートをマッピングします。(UPnP 機能が有効になっている場合は、この手順をスキップできます)
- ⑦ IE アドレスバーに `http://www.xxx.dvrdydns.com:81` のような登録済みのドメイン名と HTTP ポートを入力し、入力キーを押して IE クライアントに進みます。

4.5.5 SNMP

SNMP を設定します。

SNMP 機能は、カメラのステータスやパラメータ、アラーム情報を取得し、カメラをリモートで管理できます。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定	
ポート サーバ DDNS SNMP 802.1X RTSP UPnP Email FTP HTTPS QoS WIFI	
SNMP v1/v2	
<input type="checkbox"/> SNMPv1を有効にする	
<input type="checkbox"/> SNMPv2を有効にする	
SNMPコミュニティのリード	<input type="text" value="public"/>
SNMP名称を書く	<input type="text" value="private"/>
トラップ住所	<input type="text" value="192.168.226.201"/>
トラップポート	<input type="text" value="162"/>
トラップグループ名	<input type="text" value="public"/>
SNMP v3	
<input type="checkbox"/> SNMPv3を有効にする	
ユーザー名のリード	<input type="text" value="public"/>
セキュリティレベル	<input type="text" value="auth, priv"/>
認証アルゴリズム	<input checked="" type="radio"/> MD5 <input type="radio"/> SHA
認証パスワード	<input type="text" value="....."/>
秘密鍵アルゴリズム	<input checked="" type="radio"/> DES <input type="radio"/> AES
秘密鍵パスワード	<input type="text" value="....."/>
ユーザー名を書く	<input type="text" value="private"/>
セキュリティレベル	<input type="text" value="auth, priv"/>
認証アルゴリズム	<input checked="" type="radio"/> MD5 <input type="radio"/> SHA
認証パスワード	<input type="text" value="....."/>
秘密鍵アルゴリズム	<input checked="" type="radio"/> DES <input type="radio"/> AES
秘密鍵パスワード	<input type="text" value="....."/>
SNMPその他の設定	
SNMPポート	<input type="text" value="161"/>
<input type="button" value="保存"/>	

➤ SNMP v1/v2

[SNMPv1 を有効にする][SNMPv2 を有効にする]にチェックを入れ、SNMPv1/v2 を有効にします。

SNMP v1/v2	
<input checked="" type="checkbox"/> SNMPv1を有効にする	
<input checked="" type="checkbox"/> SNMPv2を有効にする	
SNMPコミュニティのリード	<input type="text" value="public"/>
SNMP名称を書く	<input type="text" value="private"/>
トラップ住所	<input type="text" value="192.168.226.201"/>
トラップポート	<input type="text" value="162"/>
トラップグループ名	<input type="text" value="public"/>

表示	説明
SNMP コミュニティのリード	Read-only。SNMP による 読み取り 専用のコミュニティ名を入力します。
SNMP 名称を書く	Read-write。SNMP による 読み書き 専用のコミュニティ名を入力します。
トラップ住所	トラップ送信先 SNMP マネージャの IP アドレスを入力します。
トラップポート	トラップポートを入力します。
トラップグループ内	トラップのコミュニティ名を入力します。
保存	設定を保存します。

➤ SNMP v3

[SNMPv3 を有効にする]にチェックを入れ、SNMPv3 を有効にします。

SNMP v3	
<input checked="" type="checkbox"/> SNMPv3を有効にする	
ユーザー名のリード	<input type="text" value="public"/>
セキュリティレベル	<input type="text" value="auth, priv"/>
認証アルゴリズム	<input checked="" type="radio"/> MD5 <input type="radio"/> SHA
認証パスワード	<input type="text" value="●●●●●●"/>
秘密鍵アルゴリズム	<input checked="" type="radio"/> DES <input type="radio"/> AES
秘密鍵パスワード	<input type="text" value="●●●●●●"/>
ユーザー名を書く	<input type="text" value="private"/>
セキュリティレベル	<input type="text" value="auth, priv"/>
認証アルゴリズム	<input checked="" type="radio"/> MD5 <input type="radio"/> SHA
認証パスワード	<input type="text" value="●●●●●●"/>
秘密鍵アルゴリズム	<input checked="" type="radio"/> DES <input type="radio"/> AES
秘密鍵パスワード	<input type="text" value="●●●●●●"/>

表示	説明
ユーザー名のリード	SNMP による 読み取り 専用のユーザー名を入力します。
ユーザー名を書く	SNMP による 読み書き 専用のユーザー名を入力します。
セキュリティレベル	ユーザー認証には 3 つのセキュリティレベルがあります。 <ul style="list-style-type: none"> auth, priv : 認証アルゴリズムで認証。暗号化あり。 auth, no priv : 認証アルゴリズムで認証。暗号化なし。 no auth, no priv : ユーザー名のみで認証。暗号化なし。
認証アルゴリズム	認証方式を MD5 または SHA から選択します。
認証パスワード	認証パスワードを設定します。
秘密鍵アルゴリズム	暗号化方式を DES または AES から選択します。
秘密鍵パスワード	暗号化パスワードを設定します。
保存	設定を保存します。

➤ SNMP その他の設定

SNMP ポートを設定して、保存をクリックします。

SNMPその他の設定	
SNMPポート	<input type="text" value="161"/>
<input type="button" value="保存"/>	

4.5.6 802.1X

802.1X を設定します。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定	
ポート サーバ DDNS SNMP 802.1X RTSP UPnP Email FTP HTTPS QoS WIFI	
<input checked="" type="checkbox"/> 有効	
プロトコルタイプ	EAP MD5 ▼
EAPOLバージョン	1 ▼
ユーザー名	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>
パスワード確認	<input type="password"/>
<input type="button" value="保存"/>	

802.1X の設定方法

- ① 有効にチェックを入れ、802.1X 認証を有効にします。
- ② プロトコルタイプと EAPOL バージョンは、デフォルト設定でご使用ください。
- ③ ユーザー名とパスワードは、認証サーバに登録されているユーザー名とパスワードを入力してください。

4.5.7 RTSP

RTSP を設定します。

[有効]にチェックを入れ、RTSP を有効にします。

- ポート：「[4.5.2 ポート](#)」の RTSP ポートと連動しています。
- アドレス：VLC プレーヤーなどで再生する時に使用する RTSP アドレスを表示します。
【例】 RTSP アドレス (ユニキャスト)。IP アドレスが 192.168.1.226 の場合。
第 1 ストリーム ⇒ rtsp://192.168.1.226:554/profile1
第 2 ストリーム ⇒ rtsp://192.168.1.226:554/profile2
第 3 ストリーム ⇒ rtsp://192.168.1.226:554/profile3
- マルチキャストアドレス：マルチキャストアドレス、ポート番号を設定します。
【例】 RTSP アドレス (マルチキャスト)。IP アドレスが 192.168.1.226 の場合。
第 1 ストリーム ⇒ rtsp://192.168.1.226:554/profile1?transportmode=mcast
第 2 ストリーム ⇒ rtsp://192.168.1.226:554/profile2?transportmode=mcast
第 3 ストリーム ⇒ rtsp://192.168.1.226:554/profile3?transportmode=mcast
カメラ起動時に、自動的に配信開始したい場合は、[自動スタート]をチェックします。
- [匿名ログインを許可する (ユーザー名またはパスワードは不要)] に、チェックを入れると RTSP 認証を省いて再生できます。

4.5.8 UPnP

UPnP 機能はポートマッピングなしのルータ経由で WAN に接続され、IE からカメラにアクセスできます。

The screenshot shows a web interface for configuring UPnP. At the top, there is a breadcrumb trail: 設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定. Below this is a horizontal menu with various settings: ポート, サーバ, DDNS, SNMP, 802.1X, RTSP, UPnP (highlighted), Email, FTP, HTTPS, QoS, and WIFI. Under the UPnP menu item, there is a checkbox labeled '有効' which is checked. Below the checkbox is a text input field labeled 'UPnP名'. At the bottom center of the form is a '保存' (Save) button.

UPnP の設定方法

- ① ルータが UPnP 機能に対応し、ルータで有効になっていることを確認します。
- ② ルータに対応するカメラの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイなどを設定します。
- ③ 有効にチェックを入れ、UPnP 機能を有効にします。この機能を有効にすると、LAN 経由でカメラにすばやくアクセスすることができます。
- ④ UPnP 名を入力して、保存をクリックします。

4.5.9 Email

Emailに関する設定を行います。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート サーバ DDNS SNMP 802.1X RTSP UPnP **Email** FTP HTTPS QoS WIFI

送信者

送信者アドレス

ユーザー名

パスワード

サーバアドレス

安全な接続 ▼

SMTPポート デフォルト

送信間隔(S) (0-3600)

受信者

受信者アドレス

➤ 送信者

送信者の E メールアドレス、SMTP サーバなどを設定します。

送信者	
送信者アドレス	<input type="text"/>
ユーザー名	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>
サーバアドレス	<input type="text"/>
安全な接続	不要 <input type="button" value="▼"/>
SMTPポート	<input type="text" value="25"/> <input type="button" value="デフォルト"/>
<input type="checkbox"/> 送信間隔(S)	<input type="text" value="0"/> (0-3600)
<input type="button" value="クリア"/> <input type="button" value="テスト"/>	

送信者の設定方法

- ① 送信者の E メールアドレスを入力します。
- ② ユーザー名はアカウント名(メールアドレスの@より前の部分)、パスワードはメールのパスワードを入力します。
- ③ サーバアドレスは SMTP サーバを入力します。
- ④ セキュリティは SSL を選択し、SMTP ポートは 465 を指定します。 で初期値に戻ります。
- ⑤ Eメールの送信間隔を設定します。
送信間隔にチェックを入れ 300 秒に設定した場合、300 秒に 1 通のメールが送信されます。300 秒の間に複数検出された場合、検出時間などをまとめて 1 通で通知します。添付ファイルの静止画は最初に検出した静止画のみを添付します。
- ⑥ をクリックして、アカウントの接続テストを行います。

注 1 Yahoo や Gmail 等のフリーメールはご利用いただけません。ISP が提供するメールサービスをお使いください。

➤ 受信者

[受信者アドレス]欄に受信者のメールアドレスを入力し、**追加** をクリックしてリストに追加します。
削除する場合は、リストから削除するアドレスを選択し、**削除** をクリックしてリストから削除します。

The screenshot shows a window titled "受信者" (Recipients). Inside, there is a list of email addresses: "@hytec.co.jp", "@yahoo.co.jp", and "@gmail.com". The first address is highlighted in blue. Below the list is an input field labeled "受信者アドレス" (Recipient Address) and two buttons: "追加" (Add) and "削除" (Delete).

4.5.10 FTP

FTP サーバの設定を行います。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート サーバ DDNS SNMP 802.1X RTSP UPnP Email **FTP** HTTPS QoS WIFI

サーバ名	サーバアドレス	ポート	ユーザー名	パス
FTP_TEST	192.168.XXX.XXX	21	ftp_user	

追加 変更 削除 テスト 保存

➤ FTP 追加/変更

FTP サーバを追加するには、**追加** をクリックします。変更する場合は、**変更** をクリックします。

表示	説明
サーバ名	FTP サーバの名前を入力します。
サーバアドレス	FTP サーバの IP アドレスまたはドメイン名を入力します。
パス	ファイルのアップロード先を設定します。
ポート	FTP サーバのポート番号を入力します。
ユーザー名/パスワード	FTP サーバのユーザー名とパスワードを入力します。 匿名にチェックを入れると、ユーザー名とパスワードの入力を省きます。
OK	設定を保存します。

➤ テスト

テスト をクリックすると、選択している FTP サーバとの接続確認を行います。

➤ FTP 削除

削除 をクリックすると、選択している FTP サーバを削除します。

4.5.11 HTTPS

HTTPS を設定します。HTTPS は Web サイトの認証を提供し、ユーザーのプライバシーを保護します。

有効にチェックを入れて、HTTPS へのアクセスを有効にし、**保存** をクリックして設定を保存します。

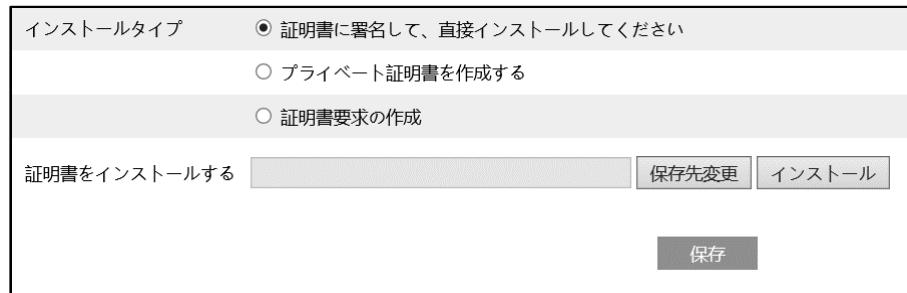
Web ブラウザを使用して、「https://IP アドレス:HTTPS ポート」にアクセスします。

《 例 : https://192.168.226.201:443 》

デフォルトで証明書がインストールされています。

デフォルトの証明書を使用しない場合は、**削除** をクリックして証明書を削除し、プライベート証明書を作成することもできます。3 種類のインストールタイプのどれかを選択して、各タイプで設定してください。

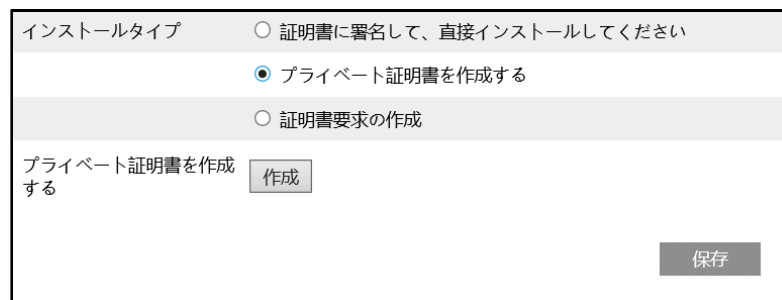
- 証明書に署名して、直接インストールしてください



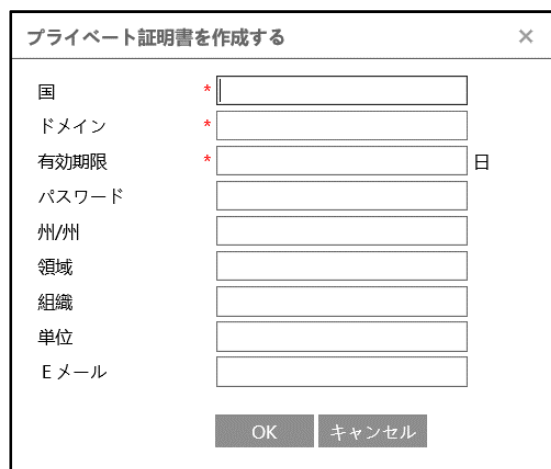
[保存先変更]ボタンをクリックして、インストールする証明書ファイルを選択してから、[インストール]ボタンをクリックして証明書をインストールします。

最後に[保存]ボタンをクリックします。

- プライベート証明書を作成する



[作成]ボタンをクリックして、プライベート証明書を作成します。国(2文字のみ利用可能)、ドメイン(NVRのIPアドレス/ドメイン)、有効期限、パスワード、州(都道府県)、領域(地域)などを入力します。「*」は、必須項目です。次に、[OK]をクリックして設定を保存します。最後に[保存]ボタンをクリックします。



➤ 証明書要求の作成

The screenshot shows a menu titled '証明書要求の作成' (Certificate Request Creation). It contains three radio button options:

- 証明書に署名して、直接インストールしてください
- プライベート証明書を作成する
- 証明書要求の作成

 Below the options, there are three buttons: '作成' (Create), 'ダウンロード' (Download), and '削除' (Delete). At the bottom right of the menu, there is a '保存' (Save) button.

[作成]をクリックして証明書要求を作成します。

The screenshot shows a dialog box titled '証明書要求の作成' (Certificate Request Creation) with a close button (X) in the top right corner. It contains several input fields:

- 国 (Country): * 例:CN
- ドメイン (Domain): *
- パスワード (Password)
- 州/州 (State/Province)
- 領域 (Region)
- 組織 (Organization)
- 単位 (Unit)
- Eメール (Email)

 At the bottom of the dialog, there are two buttons: 'OK' and 'キャンセル' (Cancel).

国(2文字のみ利用可能)、ドメイン(NVRのIPアドレス/ドメイン)、パスワード、州(都道府県)、領域(地域)などを入力します。[*]は、必須項目です。次に、[OK]をクリックして設定を保存します。

そうすると、[ダウンロード]ボタンがアクティブになりますので、クリックして、証明書要求ファイルをダウンロードし、署名のために信頼された証明機関に送信します。署名された証明書を受け取った後、証明書をデバイスにインポートします。上述の[証明書に署名して、直接インストールしてください]項で証明書をインストールしてください。

また、[削除]をクリックして、作成した証明書要求ファイルを削除できます。

4.5.12 QoS

データストリームの転送に優先順位を付けることができます。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート サーバ DDNS SNMP 802.1X RTSP UPnP Email FTP HTTPS **QoS** WIFI

ビデオ/オーディオDSCP

アラームDSCP

マネージャDSCP

ネットワーク遅延やネットワーク混雑を改善するために、それぞれのストリームに優先度を設定し、順番に転送を行います。数値が大きいほど、優先度は高くなります。

表示	説明
ビデオ/オーディオ DSCP	0 ～63 の範囲でビデオ/オーディオの優先度を設定します。
アラーム DSCP	0 ～63 の範囲でアラームの優先度を設定します。
マネージャ DSCP	0 ～63 の範囲でマネージャの優先度を設定します。
保存	設定を保存します。

4.5.13 Wi-Fi

無線の設定を行います。

WPS を使用して自動で接続する場合は、「2.3 Wi-Fi」の WPS を使用した設定を参照してください。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート サーバ DDNS SNMP 802.1X RTSP UPnP Email FTP HTTPS QoS **WiFi**

有効

Wi-Fiネットワーク 検索

Index	SSID	ワーキングモード	セキュリティモード	チャンネル	信号強度	Mbps	接続状態
1	無線LAN	Manage	WPA2-personal	1	100	150	未接続
2	無線LAN-10677	Manage	WPA2-personal	10	100	150	未接続
3	無線LAN-10678	Manage	WPA2-personal	9	100	150	未接続
4	無線LAN-10679	Manage	WPA2-personal	6	100	150	未接続
5	無線LAN-10680	Manage	WPA2-personal	6	97	150	未接続

< 1 / 1 > View 1 - 20 of 20

Wi-Fi

SSID

セキュリティモード

キー

暗号化タイプ

WPS

WPSを有効にする

PINコード 性別

PBC接続

ルーターのPINコードを使用する

SSID

ルーターPINコード ルーターのPINコードを入力してください。

LAN

自動的にIPアドレスを取得する

以下のIPアドレスを使う

IPアドレス

サブネットマスク

ゲートウェイ

優先DNSサーバ

代替DNSサーバ

➤ Wi-Fi ネットワーク

[有効]にチェックを入れて、設定を[保存]します。しばらくしてから [検索]ボタンをクリックすると、接続可能な Wi-Fi ルータを表示します。接続したい Wi-Fi ルータの行をクリックして選択します。(選択した行は青色になります。)



➤ Wi-Fi 設定

手動で設定する場合は、必要な項目を設定します。

※ WPS 項の PIN コードで接続する場合は設定不要です。

Wi-Fi	
SSID	<input type="text" value="elecom-5d0677"/>
セキュリティモード	<input type="text" value="WPA2-personal"/> ▼
キー 1 ●	<input type="text" value="●●●●●●●●"/>
暗号化タイプ	<input type="text" value="AES"/> ▼

表示	説明
SSID	Wi-Fi ネットワークで選択したルータの SSID を表示しています。
セキュリティモード	セキュリティの種類を選択します。Not-encrypt、WEP、WPA-personal、WPA2-personal が選択できます。
キー1	Wi-Fi ルータの暗号キーを設定します。暗号キーについては Wi-Fi ルータを参照してください。
暗号化タイプ	暗号化の種類を選択します。AES と TKIP が選択できます。
保存	設定を保存します。

※設定後、LAN ケーブルを本機から外してください。外さないと接続完了になりません。

➤ WPS

WPS の PIN コードを使用した設定を行います。

前項の手動で暗号キーを設定した場合は、設定不要です。

WPS	
<input checked="" type="checkbox"/> WPSを有効にする	
PINコード	<input type="text"/> 性別
<input checked="" type="radio"/> PBC接続	<input type="button" value="接続"/>
<input type="radio"/> ルーターのPINコードを使用する	<input type="button" value="接続"/>
SSID	<input type="text" value="elecom-5d0677"/>
ルーターPINコード	<input type="text"/> ルーターのPINコードを入力してください。

表示	説明
WPS を有効にする	WPS を利用する場合はチェックしてください。
PIN コード	(未サポート)
PBC 接続	接続するルータの WPS ボタンを押してから、すぐに[接続]ボタンをクリックして接続します。押す順番は逆でも接続できます。
ルータの PIN コードを使用する	接続するルータの PIN コードを使用して接続します。 以下の 2 項目を入力してから[接続]ボタンをクリックします。
SSID	接続するルータの名前を入力します。
ルータ PIN コード	接続するルータの PIN コードを入力します。 PIN コードについてはルータ側のマニュアルなどを参照してください。

➤ LAN

Wi-Fi の LAN 設定を行います。

LAN	
<input checked="" type="radio"/>	自動的にIPアドレスを取得する
<input type="radio"/>	以下のIPアドレスを使う
IPアドレス	<input type="text" value="192.168.1.201"/>
サブネットマスク	<input type="text" value="255.255.255.0"/>
ゲートウェイ	<input type="text" value="192.168.1.1"/>
優先DNSサーバ	<input type="text" value="192.168.1.1"/>
代替DNSサーバ	<input type="text" value="8.8.8.8"/>

表示	説明
自動的に IP アドレスを取得する	Wi-Fi ルータから自動で IP を取得する場合はチェックします。
以下の IP アドレスを使う	手動で Wi-Fi の IP アドレスを設定する場合にチェックします。 IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、優先/代替 DNS サーバを入力します。 有線ネットワークの IP セグメントを避け、Wi-Fi ルータで管理されているセグメントでの設定をおすすめします。
保存	設定を保存します。

➤ 保存

[保存]ボタンをクリックして設定を保存します。

Wi-Fi ネットワークの表で、接続状態が「接続完了」に変更されていることを確認してください。

そうでない場合は、Wi-Fi 設定あるいは PIN コードが誤っている可能性があります。確認して再度実行してください。

※：本機の LAN ポートと PC などが LAN ケーブルで接続されていると、「接続完了」になりません。

4.6 セキュリティ設定

ユーザー、オンラインユーザ、ブロックと許可リスト、セキュリティ管理などのサブメニューがあります。

<p>システム設定 基本情報 日付と時間 ローカル設定 ストレージ</p> <p>画像設定 画質調整 映像/音声 OSD プライバシーマスク ROI</p> <p>アラーム設定 モーション検出 PIRアラーム 異常 アラーム入力 アラーム接点出力 アラームサーバ</p> <p>イベント設定 妨害検知 ラインクロス エリア侵入検知</p> <p>ネットワーク設定 TCP/IP ポート 更に追加...</p> <p>セキュリティ設定 ユーザー オンラインユーザー ブロックと許可リスト セキュリティ管理</p> <p>メンテナンス バックアップと復元 再起動 アップグレード 操作ログ</p>	<p>設定ホーム ▶ セキュリティ設定</p> <p>セキュリティ設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ユーザー ユーザーの追加、修正、削除を行います。但し管理者アカウント：adminは削除できません。 ● オンラインユーザー オンラインのユーザーを表示します。 ● ブロックと許可リスト 特定のIPアドレスまたはMACアドレスからのアクセスを許可またはブロックします。 ● セキュリティ管理 不正ログインを検出した時にデバイスをロックします。
---	--

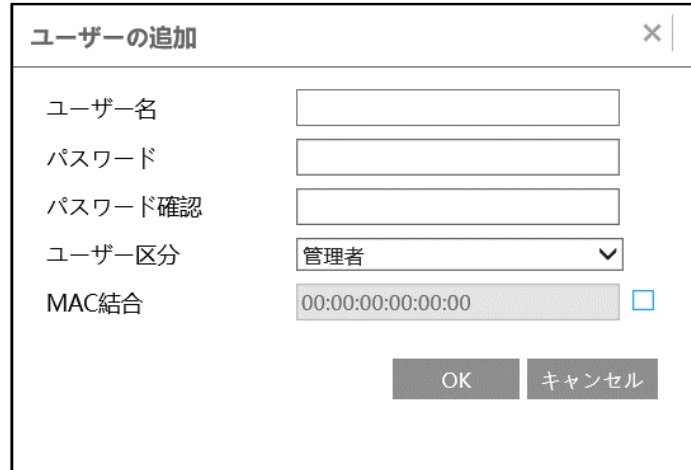
4.6.1 ユーザー

ユーザーの追加、変更、削除を行います。管理者アカウントの admin は削除できません。

設定ホーム ▶ セキュリティ設定 ▶ ユーザー			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> 追加 変更 削除 </div>			
Index	ユーザー名	ユーザー区分	MAC結合
1	admin	管理者	

ユーザーの追加方法

- ① **追加** をクリックすると、「ユーザーの追加」がポップアップします。



ユーザーの追加

ユーザー名

パスワード

パスワード確認

ユーザー区分

MAC結合

OK キャンセル

- ② ユーザー名とパスワード(パスワード確認)は、1～15文字の英数字で設定します。
- ③ ユーザー区分を選択します。
- ・ 管理者 : すべての権限を持っています。
 - ・ 上級ユーザー : 「ユーザー」、「ブロックと許可リスト」、「バックアップと復元」、「アップグレード」以外、管理者と同じ権限を持っています。
 - ・ ノーマルユーザ : 「ライブ」の表示と「検索」のみ可能です。設定の変更はできません。
- ④ MAC 結合を指定することで特定の PC だけが、そのユーザからカメラにアクセスすることができます。チェックを入れて MAC アドレスを指定してください。
- ⑤ [OK]をクリックして、追加します。

上級ユーザとノーマルユーザの初期権限

システム設定	基本情報		○
	日付と時刻		○
	ローカル設定		○
アラーム設定	モーション検出	検出設定	×
		エリアと感度	○
		スケジュール	○
	異常		○
	アラーム入力		○
	アラーム出力		○
ネットワーク設定			閲覧のみ
セキュリティ設定	ユーザ		○※
	オンラインユーザ		○

※ログイン中ユーザのパスワード変更

ユーザレベルと付与可能な権限

	上級	ノーマルユーザ
ストレージ設定	○	×
画像設定（全項目）	○	○
PTZ コントロール	○	○
アラームサーバ設定	○	○
イベント設定	○	○
ネットワーク設定	○	×
セキュリティ設定	○※	×
バックアップと復元	○	×
再起動とアップグレード	○	×
ログ閲覧	○	○
音声インターホン（双方向音声通話）	○	○
プレビュー（ライブ）	○	○
再生（検索）	○	○
ユーザー管理	×	×

※ユーザー編集を除く、セキュリティメニュー

パスワードの変更方法

- ① **変更** をクリックすると、「ユーザーの編集」がポップアップします。

ユーザーの編集

パスワードの変更

ユーザー名 admin

旧パスワード

新しいパスワード

パスワード確認

MAC結合 00:00:00:00:00:00

OK キャンセル

- ② [パスワードの変更]にチェックを入れ、新しいパスワードを入力し、OK をクリックします。
(MAC 結合も変更可能)
- ③ [OK]をクリックして保存します。

ユーザーの削除方法

- ① 削除するユーザーを選択します。選択されているユーザーは青くなります。
- ② **削除** をクリックすると、削除の確認がポップアップするので OK をクリックして削除します。

4.6.2 オンラインユーザ

カメラに接続しているユーザを表示します。

管理者ユーザは、他のすべてのユーザを追い出す(キックアウト)ことができます。

設定ホーム ▶ セキュリティ設定 ▶ オンラインユーザ

Index	クライアントアドレス	ポート	ユーザ名	ユーザ区分	
1	172.16.2.188	56916		匿名ユーザ	キックアウト
2	172.16.2.188	56917		匿名ユーザ	キックアウト
3	172.16.2.7	6874	admin	管理者	キックアウト

4.6.3 ブロックと許可リスト

特定の IP アドレスまたは MAC アドレスからのアクセスを許可またはブロックします。

[アドレスフィルタリングを有効にする]にチェックを入れ、許可/ブロックの設定を行います。

IP/MAC アドレスフィルタの追加方法

- ① [次のアドレスをブロックします]または[次のアドレスを許可します]のどちらかを選択します。
 - ・ ブロック：リスト内のみブロックし、その他のデバイスは許可されます。
 - ・ 許可：リスト内のみ許可し、その他のデバイスはブロックされます。
- ② IPv4、IPv6、MAC のどれかを選択し、アドレスを入力します。
- ③ **追加** をクリックすると、リストに表示されます。
- ④ **保存** をクリックして保存します。

IP/MAC アドレスフィルタの削除方法

- ① リストからアドレスを選択します。
- ② **削除** をクリックすると、選択しているアドレスを削除します。
- ③ **保存** をクリックして保存します。

4.6.4 セキュリティ管理

不正ログインを検出した時の対応を設定します。

➤ セキュリティサービス

[セキュリティサービス]タブを開き、不正ログインによるロック解除を防ぐことができます。

設定ホーム ▶ セキュリティ設定 ▶ セキュリティー管理

セキュリティサービス

不正ログインによるロックを有効

保存

[不正ログインによるロックを有効]が有効である場合、ログイン試行に 6 回失敗するとロックされます。

ロックから 30 分後またはカメラの再起動によって、カメラは再度ログインすることができます。

4.7 メンテナンス

バックアップと復元、再起動、アップグレード、操作ログなどのサブメニューがあります。

<p> システム設定 基本情報 日付と時間 ローカル設定 ストレージ</p>	設定ホーム ▶ メンテナンス
<p> 画像設定 画質調整 映像/音声 OSD プライバシーマスク ROI</p>	<p>メンテナンス</p> <ul style="list-style-type: none"> ● バックアップと復元 システム構成のバックアップ/復元、または工場出荷設定へのリセットを行います。 ● 再起動 カメラを再起動します。 ● アップグレード カメラのソフトウェアを更新します。 ● 操作ログ 操作ログを表示します。
<p> アラーム設定 モーション検出 PIRアラーム 異常 アラーム入力 アラーム接点出力 アラームサーバ</p>	
<p> イベント設定 妨害検知 ラインクロス エリア侵入検知</p>	
<p> ネットワーク設定 TCP/IP ポート 更に追加...</p>	
<p> セキュリティ設定 ユーザー オンラインユーザー ブロックと許可リスト セキュリティー管理</p>	
<p> メンテナンス バックアップと復元 再起動 アップグレード 操作ログ</p>	

4.7.1 バックアップと復元

カメラの設定情報のインポート（復元）とエクスポート（バックアップ）、工場出荷時への初期化を行います。

➤ 設定のインポート（復元）

参照をクリックして、バックアップファイルを選択します。設定のインポートをクリックして、設定を復元します。

➤ 設定のエクスポート

設定のエクスポートをクリックして、設定をバックアップします。

➤ 設定を初期化する

工場出荷設定に戻す をクリックして、設定を初期状態に戻します。

「設定を保持」で選択した設定項目は、初期化されず、現在の設定を保持します。

設定を初期化する

設定を保持

- ネットワーク設定
- セキュリティ設定
- 画像設定

工場出荷設定に戻す

4.7.2 再起動

カメラの再起動を行います。

設定ホーム ▶ メンテナンス ▶ 再起動

再起動

再起動

再起動には1～5分かかります。正常に起動するとブラウザは自動的に再接続します。

定刻自動再起動

時刻の設定

保存

➤ 再起動

再起動 をクリックすると、確認のメッセージがポップアップします。OK をクリックするとカメラは再起動を行います。再起動には 1～5 分かかります。正常に完了すると、自動的に再接続、ログイン画面に戻ります。

再起動

再起動

再起動には1～5分かかります。正常に起動すると、ブラウザは自動的に再接続します。

➤ 定刻自動再起動

定期的に再起動を行います。

[時刻の設定]にチェックを入れると、自動的な再起動が有効になります。毎日または週に一度、決まった時間帯を指定します。

定刻自動再起動

時刻の設定

週 ▼

時間

保存

4.7.3 アップグレード

カメラのソフトウェアを更新します。

The screenshot shows a web browser window with the following elements:

- Navigation path: 設定ホーム ▶ メンテナンス ▶ アップグレード
- Section title: ローカルアップグレード
- Form field: パス (Password) with an input box.
- Buttons: 保存先変更 (Save as) and アップグレード (Upgrade).

ソフトウェアのアップグレード方法

- ① [保存先変更]をクリックして、アップグレードファイルを選択します。
 - ② **アップグレード** をクリックして、ソフトウェアのアップグレードを開始します。
 - ③ アップグレード終了後、カメラは自動的に再起動します。
- ※ アップグレード中はブラウザを閉じたり、カメラをネットワークから切断したりしないでください。
- ※ アップグレード中は電源を切らないでください。
- ※ アップグレード中は監視などの機能は動作しません。

4.7.4 操作ログ

ログの種類を選択、開始時間と終了時間を指定、**検索** をクリックすると、ログが表示されます。

設定ホーム ▶ メンテナンス ▶ 操作ログ

第一区分 第二区分

開始時間 終了時間 **検索** **エクスポート**

Index	時間	第一区分	第二区分	ユーザー名	ログインIP	ホスト名
1	2022-10-11 06:47:...	操作	ログイン	admin	192.168.226.189	
2	2022-10-11 06:47:...	操作	ログイン	admin	192.168.226.189	
3	2022-10-11 06:47:...	操作	ログアウト		192.168.226.189	
4	2022-10-11 06:46:...	情報	システム起動			
5	2022-10-11 06:46:...	操作	システム設定変更			
6	2022-10-11 06:46:...	操作	ログアウト	admin	192.168.226.189	
7	2022-10-11 06:46:...	操作	リポート	admin	192.168.226.189	
8	2022-10-11 05:35:...	操作	セキュアな設定変更	admin	192.168.226.189	
9	2022-10-11 05:34:...	操作	ログイン	admin	192.168.226.189	
10	2022-10-11 05:34:...	操作	ログアウト		192.168.226.189	
11	2022-10-11 05:33:...	操作	ログアウト	admin	192.168.226.189	
12	2022-10-11 05:32:...	操作	セキュアな設定変更	admin	192.168.226.189	
13	2022-10-11 05:21:...	操作	セキュアな設定変更	admin	192.168.226.189	
14	2022-10-11 05:20:...	操作	システム設定変更	admin	192.168.226.189	
15	2022-10-11 05:20:...	操作	ログイン	admin	192.168.226.189	
16	2022-10-11 05:20:...	操作	ログアウト		192.168.226.189	

1 / 3 20 View 1 - 20 of 46

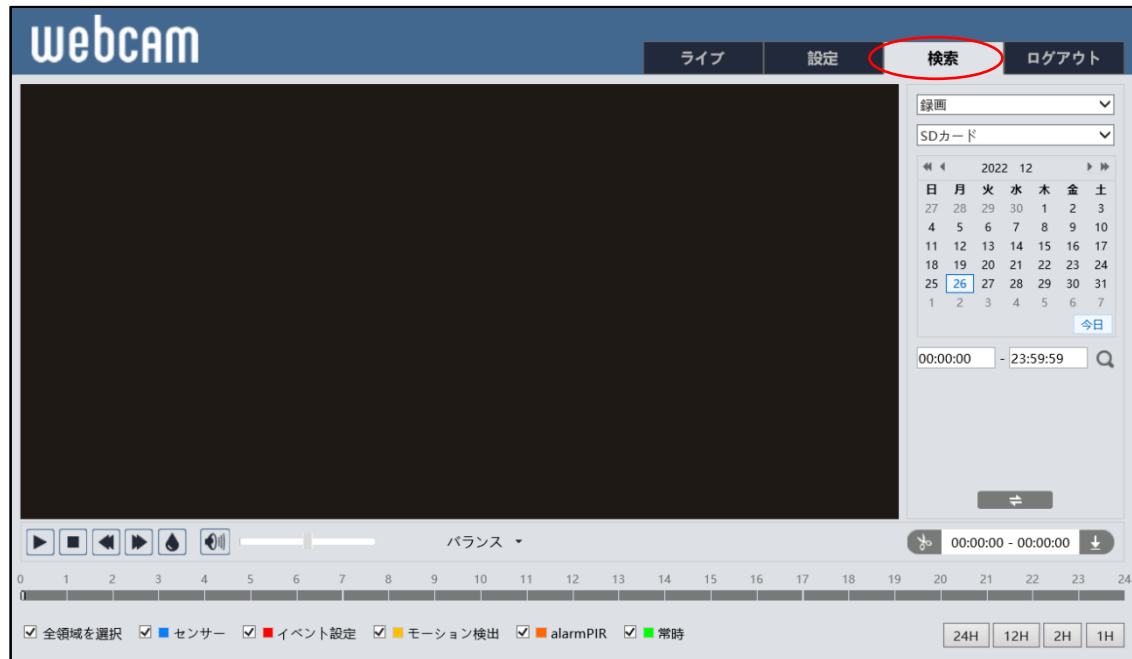
ログの取得方法

- ① 第一区分、第二区分より、取得するログの種類を選択します。
- ② 開始時間と終了時間を設定し、検索するログの時間帯を指定します。
- ③ **検索** をクリックすると、指定時間内のログを表示します。
- ④ **エクスポート** をクリックして、ログをエクスポート・保存することができます。

5. 検索

右上の[検索]タブを開きます。

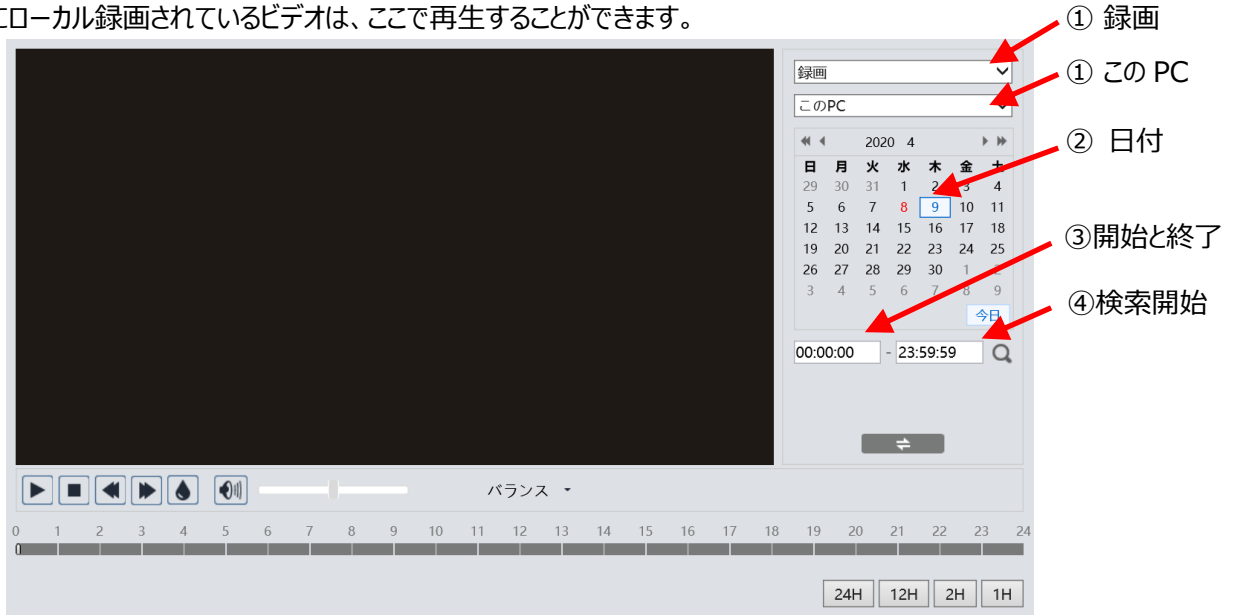
ここでは、SD カードまたはローカル PC に保存されている録画と写真を表示できます。





5.1 録画検索

5.1.1 ローカル録画（動画）

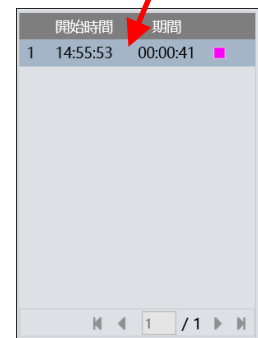
PC にローカル録画されているビデオは、ここで再生することができます。



検索方法

- ① 右上のドロップダウンメニューから、“録画”-“この PC”を選択します。
- ② 検索したい日を設定します。
※録画データがある日はカレンダーの数字が赤色になっています。
- ③ 検索時間と終了時間を設定します。
- ④  をクリックして、録画ファイルを検索します。
- ⑤ 検索後に表示する録画ファイルリスト内をダブルクリックすると再生を開始します。
- ⑥  で、検索前と検索後の画面を移動できます。
- ⑦ タイムテーブルは 24H / 12H / 2H / 1H 形式で表示できます。
(録画あり：ピンクの帯で表示しています)

ダブルクリックで再生開始



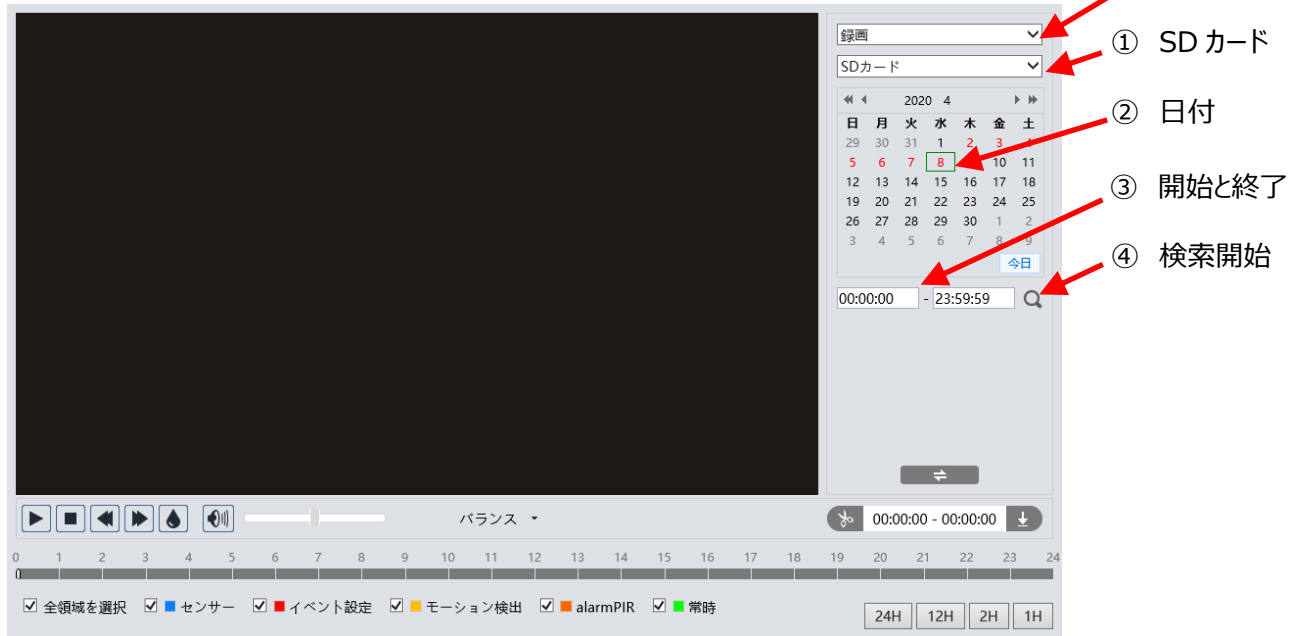
検索後に表示する録画
ファイルリスト

録画検索画面のアイコンを説明します。



アイコン	説明	アイコン	説明
	再生/一時停止ボタン		停止ボタン
	スピードダウン		スピードアップ
	電子透かし表示		スピーカ ON/OFF

5.1.2 SD カード録画（動画）

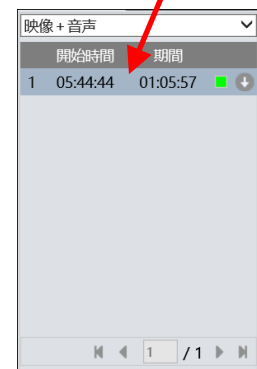
SD カードに録画されているビデオは、ここで再生することができます。



検索方法

- ① 右上のドロップダウンメニューから、“録画”-“SD カード”を選択します。
- ② 検索したい日を設定します。
※録画データがある日はカレンダーの数字が赤色になっています。
- ③ 開始時間と終了時間を選択します。
- ④  をクリックして、録画ファイルを検索します。
- ⑤ ミックスストリーム(映像 + 音声)または、ビデオストリーム(映像のみ)を選択します。
- ⑥ 検索後に表示する録画ファイルリスト内のファイルをダブルクリックして再生を開始します。
- ⑦  で、検索前と検索後の画面を移動できます。
- ⑧ タイムテーブルは 24H / 12H / 2H / 1H 形式で表示できます。
センサー(青)、イベント設定(赤)、モーション検出(黄)、alarmPIR(橙)、常時録画(緑)で色分けされています。

ダブルクリックで再生開始



検索後に表示する録画ファイルリスト



ビデオクリップとダウンロード

- ① タイムテーブル上をクリックして、開始時間を選択します。
- ② をクリックすると青色 に変わり、開始時間が設定されます。
- ③ 終了時間も①②と同様に行います。
- ④ をクリックして、PC にビデオファイルをダウンロードします。
- ⑤ ダウンロード中は、以下のような画面が表示されます。

設定：PC の保存ディレクトリを指定 / パス：保存フォルダを開く

キャンセル：ダウンロードの中止 / 開く：ビデオを再生

リストクリア：ダウンロードリストの削除 / OFF：ダウンロード画面を閉じる

Index	進捗	録画タイプ	開始時間	終了時間	パス	操作
1	10%	カット	2020-04-08 08:00:00	2020-04-08 08:10:02	NetAllIPCamera	キャンセル

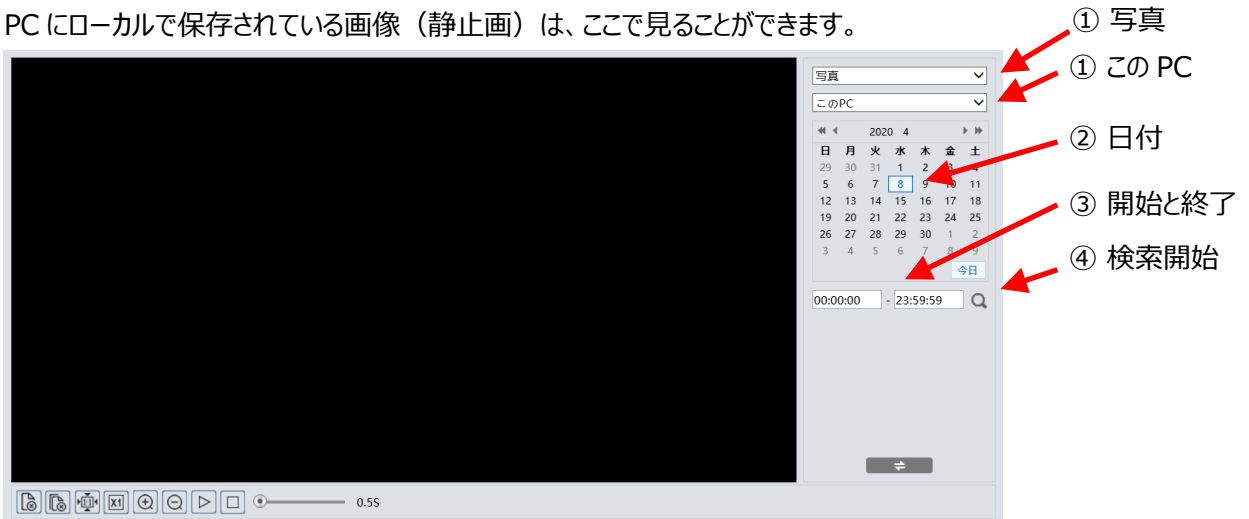
設定 リストクリア OFF

※ ファイル横の で、イベントごとにダウンロードすることもできます。



5.2 画像検索

5.2.1 ローカル画像（静止画）

PC にローカルで保存されている画像（静止画）は、ここで見るすることができます。



検索方法


- ① 右上のドロップダウンメニューから、“写真”-“この PC”を選択します。
- ② 検索したい日を設定します。
※画像データがある日はカレンダーの数字が赤色になっています。
- ③ 開始時間と終了時間を選択します。
- ④  をクリックして、画像ファイルを検索します。
- ⑤ 検索後に表示する画像ファイルリスト内をダブルクリックして、保存された画像を表示します。
- ⑥  をクリックすると、検索前と検索後の画面を移動できます。

ダブルクリックで画像を表示



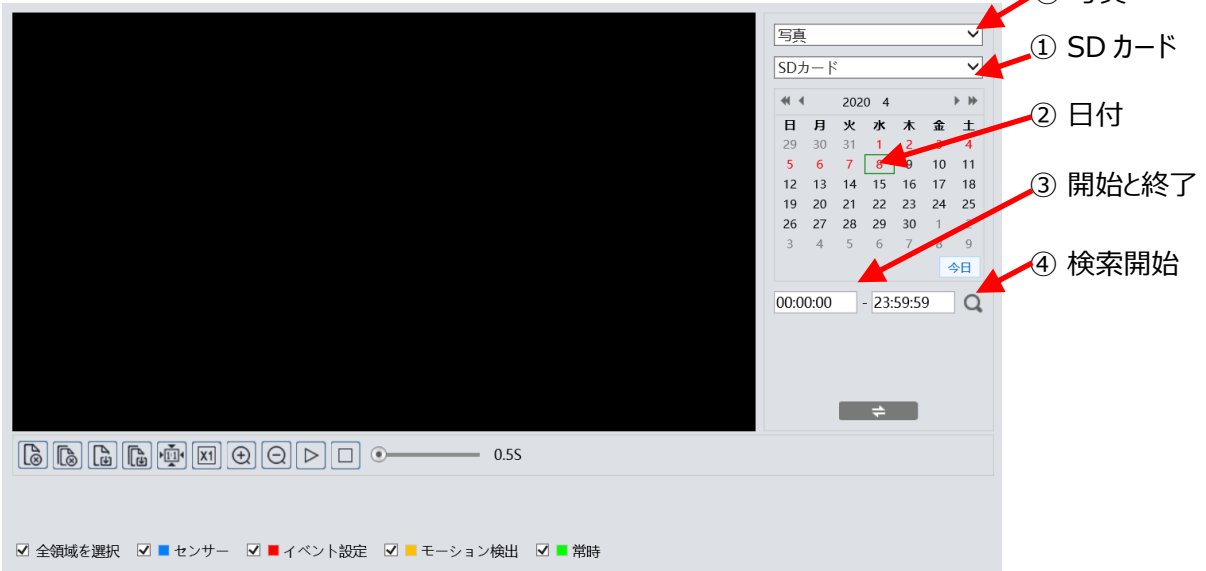
検索後に表示する画像
ファイルリスト

画像検索画面のアイコンを説明します。



アイコン	説明	アイコン	説明
	現在の画像を閉じる		すべての画像を閉じる
	現在の画像を保存		すべての画像を保存
	画面サイズに画像を調節する		実際の画像サイズ
	ズームイン/ズームアウト		スライドショー再生/一時停止
	スライドショー停止		スライドショーの再生速度

5.2.2 SD カード画像（静止画）

SD カードに保存されている画像（静止画）は、ここで見るすることができます。



検索方法

- ① 右上のドロップダウンメニューから、“写真”-“SD カード”を選択します。
- ② 検索したい日を設定します。
※画像データがある日はカレンダーの数字が赤色になっています。
- ③ 開始時間と終了時間を選択します。
- ④  をクリックして、画像ファイルを検索します。
- ⑤ 検索後に表示する画像ファイルリスト内をダブルクリックして、保存された画像を表示します。
- ⑥  をクリックすると、検索前と検索後の画面を移動できます。

ダブルクリックで画像を表示

時間	タイプ
1 17:25:59	■
2 17:25:54	■
3 17:25:49	■
4 17:25:44	■
5 17:25:38	■
6 17:25:33	■
7 17:25:28	■
8 17:25:23	■
9 17:25:18	■
10 17:25:13	■

1 / 190

検索後に表示する画像
ファイルリスト



6. 製品仕様

●映像伝送器 VIII 型

製品名	映像伝送器 VIII 型	
形状	キューブ	
カメラ部		
撮像素子	1/2.7"2MP CMOS SENSOR	
最低被写体照度	Color:0.03Lux@F2.5 AGC:ON / IR ON 時:0Lux	
赤外線 LED	実装、照射距離 = 10m	
S / N 比	54dB 以上 (AGC OFF 時)	
レンズ	2.8mm 固定焦点レンズ(画角 水平 116°)	
DAY&NIGHT	自動 / 昼間 / 夜 / スケジュール	
露出調整	自動 / マニュアル (シャッター・ゲイン)	
シャッター速度	自動(1~1/100,000)、手動(1~1/100,000)、及びフリッカレス	
ホワイトバランス	自動 / 屋内 / 屋外 / マニュアル	
DNR (ノイズ除去)	OFF / ON (LEVEL0~255)	
WDR 機能	120dB OFF / ON (LEVEL 低、中、高)	
逆光補正(BLC)	OFF / BLC (エリア : 上 / 下 / 左 / 右 / センター) / HLC	
曇り鮮明化	OFF / ON(LEVEL 0~255)	
その他の機能	ROI (3 エリア) 、プライバシーマスク (4 エリア) 、OSD (タイトル表示 / 時刻表示) 、縦モード撮影、画像回転 / 反転、SD カード録画	
スマート機能		
基本	モーション検知、妨害検知、異常検出 (ネットワーク接続、IP 競合、SD カードエラー)	
スマート検出	ラインクロス (ライン越え検知) 、エリア侵入検知	
アラーム連携	アラーム接点出力、SD カード静止画保存、SD カード録画、E メール通知、FTP アップロード	
ネットワーク部		
画像圧縮方式	H.265 / H.264 / MJPEG	
音声圧縮	G711A/μ	
インタフェース規格	ONVIF (PROFILE S)	
画像サイズ	第 1 ストリーム	1920×1080 / 1280×720
	第 2 ストリーム	704×480 / 352×240
	第 3 ストリーム	704×480 / 480×240 / 352×240

フレームレート	1~30fps
ビットレート	CBR / VBR (最大ビットレート設定 : 128kbps~6Mbps)
プロトコル	TCP/IP、UDP、IPv4、IPv6、DHCP、NTP、RTSP、FTP、PPPoE、DDNS、SNMP、802.1x、UPnP、HTTP、HTTPS、QoS
同時アクセス数	4
その他機能	オンラインユーザ表示、IP アドレスフィルタ、MAC アドレスフィルタ、パスワード保護、不正ログインロック、メール送信、Edge (IE モード) 接続
無線 LAN	
規格	IEEE802.11b/g/n
周波数帯	2.4GHz~2.485GHz
セキュリティ	WEP、WPA-PSK / WPA2-PSK
認定	工事設計認証:204-620484
外部インタフェース	
PIR(人感センサ)検出エリア	水平 100°、距離 7m 以内
SD カードスロット	Micro SD / SDHC / SDXC (最大 128GB サポート)
音声	入力 : 内蔵 MIC、出力 : 内蔵スピーカ
イーサネット	RJ-45 (10 / 100BASE-T)
アラーム IN / OUT	入力 : 1 系統 / 出力 : 1 系統
電源入力コネクタ	DC +12V (φ2.1mm 標準 DC ジャック)
一般	
電源	DC12V(±10%) / PoE ※1、※2
消費電力 (最大)	IR LED OFF = 1.8W (DC12V / 150mA) IR LED ON = 2.4W (DC12V / 200mA)
運用温度	-10℃~+45℃ (湿度 0%RH~95%RH)
寸法	(W)72 × (H)130 × (D)72mm (突起部含まず)
防水/防滴構造	—
耐衝撃構造	未対応
重量	140 g
製品保証期間	1 年間

※1 : AC ADAPTOR は付属していません。

※2 : PoE 給電時、WiFi は有効になりません。WiFi 接続する場合は+12V 給電での運用となります。

注意 : 本機は人間、車両の Ai 認識機能は装備していません。IVA (インテリジェントビデオ解析) により検出します。

7. 困ったときには

本製品の使用中に何らかのトラブルが発生したときの対処方法について説明いたします。

パスワードを忘れたときの対処方法

- デバイスを出荷時のデフォルト設定にリセットします。

※ デフォルト IP : 192.168.226.201 / ユーザー名 : admin / パスワード : 123456

カメラのリセットボタンを押して工場出荷状態に戻す方法

- ① カメラの電源を入れる。(AC アダプタを接続する。)
- ② リセットスイッチを10秒以上長押しする。
- ③ カメラが再起動して初期値に戻ります。



細い棒で10秒以上長押しする
※強く押しすぎないように注意

本体の電源が入らない

以下の点を確認してください。

- 電源コンセントには、電源が供給されているか。
- 電源には、適切な電圧が供給されているか。
- 正しいポートに、電圧が供給されているか。

RJ-45 ポートでリンクが確立しない

以下の点を確認してください。

- 接続先の機器の電源は入っているか。
- 各コネクタとケーブルが正しく接続されているか。

IE ブラウザ経由でデバイスを接続できない

以下の点を確認してください。

- ネットワークが正しく接続されていることを確認してください。
 - IP が利用できない可能性(IP の競合など)があります。有効な IP にリセットしてください。
 - Web ポート番号が改定されました。管理者に連絡して、正しいポート番号を取得してください。
- ※ 上記の 3 つの理由以外の場合、IP-Tool でデフォルト設定に戻します。

デフォルト IP : 192.168.226.201 / サブネットマスク : 255.255.255.0

パスワードを忘れたときの対処方法

- デバイスを出荷時のデフォルト設定にリセットします。

※ デフォルト IP : 192.168.226.201 / ユーザー名 : admin / パスワード : 123456

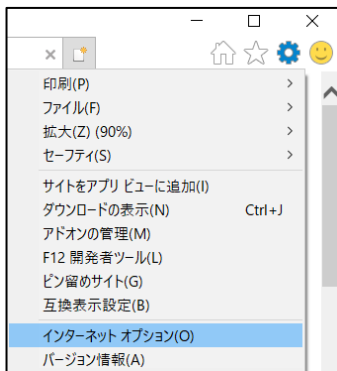
IP-Tool でデバイスを見つけられない

- コンピュータのウイルス対策ソフトウェアが原因である可能性があります。終了して、デバイスを再度検索してください。

IE が ActiveX コントロールをダウンロードできない

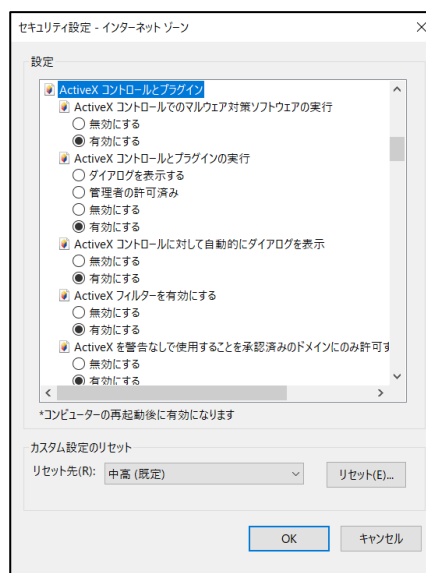
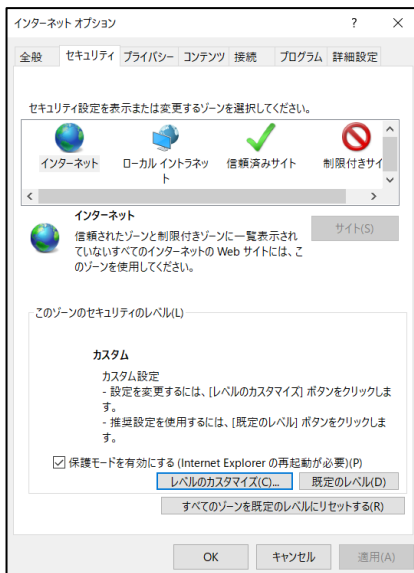
- IE ブラウザが ActiveX をブロックしている可能性があります。以下のように試してください。

- ① IE ブラウザを開きます。右上のツール  → インターネットオプションをクリックします。



- ② [セキュリティ]タブの[レベルのカスタマイズ]を選択します。(左図)

- ③ 「ActiveX コントロールとプラグイン」下の、すべてのサブオプションを有効にします。(右図)



- ④ OK をクリックして、設定を終了します。

- 他のプラグインまたは ActiveX がアンチウイルスブロックされています。アンインストールするか閉じてください。

8. 製品保証

- ◆ 故障かなと思われた場合には、弊社カスタマサポートまでご連絡ください。
 - 1) 修理を依頼される前に今一度、この取扱説明書をご確認ください。
 - 2) 本製品の保証期間内の自然故障につきましては無償修理させていただきます
 - 3) 故障の内容により、修理ではなく同等品との交換にさせて頂く事があります。
 - 4) 弊社への送料はお客様の負担とさせていただきますのでご了承ください。

初期不良保証期間：

ご購入日より **3ヶ月間** (弊社での状態確認作業後、交換機器発送による対応)

製品保証期間：

《本体》ご購入日より **1年間**(お預かりによる修理、または交換対応)

- ◆ 保証期間内であっても、以下の場合は有償修理とさせていただきます。
(修理できない場合もあります)
 - 1) 使用上の誤り、お客様による修理や改造による故障、損傷
 - 2) 自然災害、公害、異常電圧その他外部に起因する故障、損傷
 - 3) 本製品に水漏れ・結露などによる腐食が発見された場合
- ◆ 保証期間を過ぎますと有償修理となりますのでご注意ください。
- ◆ 一部の機器は、設定を本体内に記録する機能を有しております。これらの機器は修理時に設定を初期化しますので、お客様が行った設定内容は失われます。恐れ入りますが、修理をご依頼頂く前に、設定内容をお客様にてお控えください。
- ◆ 本製品に起因する損害や機会の損失については補償致しません。
- ◆ 修理期間中における代替品の貸し出しは、基本的に行っておりません。別途、有償サポート契約にて対応させて頂いております。有償サポートにつきましてはお買い上げの販売店にご相談ください。
- ◆ 本製品の保証は日本国内での使用においてのみ有効です。

製品に関するご質問・お問い合わせ先

ハイテクインター株式会社 カスタマサポート

受付時間： 平日（土日祝日、年末年始、当社休業日を除く） 9:00～17:00

TEL： 0570-060030

問合せフォーム：

https://hytec.co.jp/contact/technical_support_form.html

